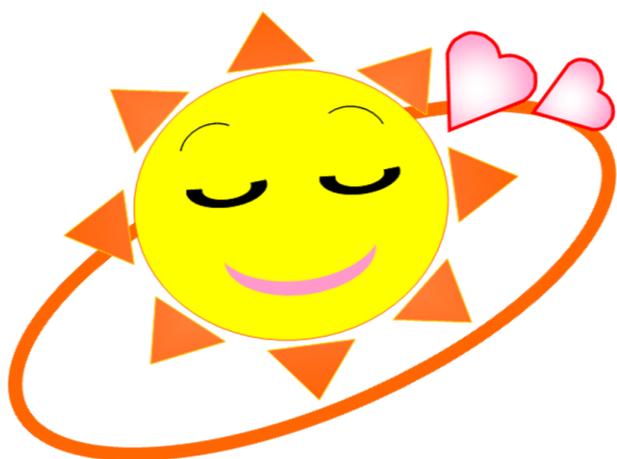


平成29年度

事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

総括	-----	1
新規・重点事業	-----	2
見直し検討・拡充	-----	6
1 みんなが“つながり”“助け合える”仕組みを広げます		
1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進		
-1 地域福祉コーディネーターの配置	-----	8
-2 地域福祉推進委員会の運営支援	-----	8
-3 各エリアの住民ニーズの把握	-----	9
-4 各エリア別活動計画の策定	-----	10
-5 コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援	-----	10
-6 活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）	-----	11
-7 自治会・町会・住宅管理組合福祉活動の支援（助成）	-----	12
-8 たすけあい有償活動の推進	-----	12
-9 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援	-----	13
1-2 生活支援サービスの推進		
-1 生活支援サービス事業の実施	-----	14
-2 生活支援コーディネーターの配置	-----	14
2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！		
2-1 福祉を身近に感じる機会の提供		
-1 福祉に対する意識に醸成	-----	16
2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成		
-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成	-----	18
-2 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充	-----	22
2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進		
-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築	-----	24
-2 生活困窮者支援の推進	-----	27
3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！		
3-1 権利擁護の推進		
-1 権利擁護センターの運営	-----	29
-2 市民後見人の養成	-----	30
3-2 多様な相談機会の提供		
-1 相談窓口の拡充	-----	31
3-3 災害時支援体制の強化		
-1 災害ボランティアセンタースタッフボランティアの発掘・育成	-----	32
-2 「要配慮者からのメッセージ」の改訂及び周知	-----	33
3-4 情報発信の強化		
-1 社協広報媒体の拡充	-----	34
3-5 多様なサービスの提供		
-1 老人福祉センターの充実	-----	37
-2 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実	-----	39
-3 障害福祉サービスの提供	-----	41

平成29年度 事業報告書

本編

《事業報告書本編の見方》

- 事業種別→【重点】【新規】【継続】
- 財源→【自主】【補助】【受託】
- 担当係→各係名記載

取り	NO.1-1-1 地域福祉コーディネーターの配置		
内	コミュニティエリアごとに配置し、住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守りや居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援します。		
事業種別・ 財源・担当係	新規・重点	自主・補助	まちづくり推進係
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	・地域包括支援センターエリアに合わせて配置	・コミュニティエリアに1名ずつ配置	→
事業計画 (実施目標)	・地域包括支援センターと同様の担当係（1名）を1区画につき2コミュニティエリア（地域福祉センター）に地域福祉センター内の地域包括支援センター等の相談に応じ、地域特性に合わせて取り組んでいく。		
取組結果	今年度（平成 29 年度）の事業実施計画		

今年度（平成 29 年度）の計画に対しての取組結果

第 4 次多摩市地域福祉活動計画の取り組み内容と一致

第 4 次多摩市地域福祉活動計画で記した、主な3年間の取り組み内容

第 4 次多摩市地域福祉活動計画の3年間の年次計画

平成 29 年度総括

平成 29 年度は、「誰もが自分らしく、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を引き続き基本理念とする第 4 次多摩市地域福祉活動計画の初年度であり、地域福祉コーディネーターの配置により、地域支援と個別相談を実施し、コミュニティエリアよりも小地域での居場所づくりや見守りの仕組みづくりが進んだ。

また、新たに介護保険制度の生活支援体制整備事業を市から受託し、「生活支援コーディネーター」2名の配置、訪問型サービス B 実施により地域における高齢者の生活支援や介護予防などの体制整備の基盤づくりに取り組んだ。

取り組み成果としては、市内を地域包括支援センターの受け持ち区域に合わせた 5 種類の「地域活動・支えあいリスト」を作成し、市民の皆さんに配布した。

ボランティア・地域活動者の発掘・育成としては、学生のボランティア活動を始めるきっかけとするために、主に中高生向けに「ボランティアハンドブック」をふるさと TAMA 応援寄付金を活用して 1000 部作成した。冊子は関係機関等に配布しボランティア育成に役立てている。

また、社会福祉協議会の活動協力員として、多摩社協の役員や評議員経験者などに声掛けをして 23 名の登録者があった。

一方、身近な地域における福祉情報の拠点である福祉協力店に、設置手数料が共同募金への寄付金になる自動販売機を 7 箇所設置し、財源確保にも資するとともに、福祉協力店に車椅子の設置を新たに行い、車椅子ステーション 4 箇所を開設した。また、市内社会福祉法人ネットワーク連絡会では、利用・活用サポートガイドを作成して、関係機関に配布して市内社会福祉法人の地域貢献活動の取り組みを PR した。

このほか、新たなサロン活動の立ち上げや介護予防ボランティアポイント登録者の拡大、フードバンク事業、たすけあい有償活動の推進、成年後見制度の啓発、子供から高齢者までの見守りを含んだ災害発生時の避難図上訓練など地域で支えあう福祉のまちづくりに努めた。

新規・重点事業

平成 29 年度は、第 4 次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく最初の年度となりました。本計画を踏まえ、平成 29 年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進した。

1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

(1) 【重点】地域福祉コーディネーターの配置

10 のコミュニティエリアに 12 名配置し、分野や対象を限定せず、横断的に住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守り居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援した。なお延べ、地域支援 2,437 件、個別相談 251 件の活動をした。

(2) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援

各コミュニティエリアの地域福祉推進委員会が、より充実した活動ができるように、多様な専門機関との連携やコーディネートし、全委員会に世話人会を立ち上げ支援をし、住民主体の運営支援をした。

(3) 【新規】各エリアの住民ニーズの把握

コミュニティエリアの中で座談会形式やワークショップなど、色々な方法で住民ニーズや課題の把握をして、関戸・一ノ宮地区、連光寺・聖ヶ丘地区、和田・東寺方・百草地区、馬引沢・諏訪地区、貝取・豊ヶ丘地区の 5 地区地域課題のまとめの素案を作成した。

(4) 【新規】各エリア別活動計画の策定

地域の課題やニーズを調査・把握し、解決に向けた取り組みを行うため、関戸・一ノ宮地区、連光寺・聖ヶ丘地区、和田・東寺方・百草地区、馬引沢・諏訪地区、貝取・豊ヶ丘地区の地域福祉推進委員会の活動計画の素案を試行的に策定した。

(5) 【新規】コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援

自治会・町会・住宅管理組合等单位での見守りや居場所づくりなど、住民主体の助け合いの仕組みづくりとして、出前サロンを 2 地区（永山瓜生地区、東寺方地区）で実施した。また、災害時用配慮者の避難や見守りの図上訓練である「LODE」を 3 地区（永山瓜生地区、豊ヶ丘 4・6 丁目、百草団地地区）を実施して小エリアでの地域福祉活動を推進した。

(6) 【新規】活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）

地域福祉コーディネーターが、より身近なところで地域住民の相談に応じることができるよう、その活動拠点の整備に向け、調査・検討をしたが、施設管理等の問題などから課題が多く、今後も市との協議に向けて調整をしていく。

2. 生活支援サービスの推進

(1) 【新規】生活支援コーディネーターの配置

コミュニティエリア(第2層)に生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターや高齢支援課等と連携しコミュニティエリアごとの社会資源マップの作成をして配布した。また「近所 de 元気アップトレーニング」の調整をし、来年度からの実施に向けてサロン交流会等で啓発を実施した。

3. ボランティア、地域活動者の発掘・育成

(1) 【重点】ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成

① 地域活動者の発掘、住民参加の促進

ア 地域出前事業として地域のニーズに合わせた出前講座を企画・実施し、若い世代からシニア世代等幅広い世代に対して、ボランティア・地域活動に関する普及・啓発、福祉教育、市民学習の機会を提供した(14件)。今後も、地域との連携の下、地域活動者の掘り起こしに力を入れていく。

イ 多摩社協の役員や評議員経験者など地域福祉に理解のある方々が、引き続き地域福祉活動を一緒に推進してもらうため、多摩社協活動協力員制度を構築し、23名の方々が登録し活動した。

また、無償の活動だけでなく、たすけあい有償活動協力員や福祉サービス利用支援事業で活動する生活支援員など、有償による地域活動者の発掘にも力を入れた。たすけあい有償活動では協力員の少ない地区に協力員の説明会のちらしのポスティングの実施や、近隣の商業施設や老人福祉センター、郵便局などにちらしを配架し、32名の方々が協力員として新規登録した。(登録協力員数 181名)

② 地域活動等参加促進プログラムの再構築

地域活動等参加促進プログラムを見直し、学校、ボランティア・地域活動団体、関係機関等と連携し、ニーズに沿った講座や学習会を提供した。

(大妻多摩中学校での福祉理解授業、京王電鉄「駅ボランティア体験講習会」等) また、小中高の学校、団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、夏のボランティア体験への参加者やボランティアポイント登録者が大幅に増加した。

(夏のボランティア体験参加者 339名、ボランティアポイント登録者数 343名)

今後もさらに、福祉教育・理解の促進を図り、地域でのボランティア人材の発掘につながるよう力を入れていく。

③ 活動者へのフォローアップ及びスキルアップ支援

活動者に対して継続した活動へつなげていくために各種専門研修を実施し、フォローアップ体制の充実・強化を図った。また、中高生の若い世代のボランティア活動への参加意識の醸成につながるよう、ボランティアハンドブックを刊行した。(配布は平成30年度)。

4. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(1) 【重点】多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

① 市内社会福祉法人連携事業の推進

多摩市内に所在する、また多摩市内で福祉施設・事業所を運営する社会福祉法人で構成の「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を通じて以下の取組を実施した。

◎多摩市内社会福祉法人利用・活用サポートガイドの発行、改訂

◎多摩大学「実践的事業経営特講」の時間に参加

※児童、障がい、高齢の各分野の社会福祉法人の職員が、それぞれ福祉職場の魅力を学生に伝えた。

◎地域福祉シンポジウムの開催

◎社会福祉法人活動紹介パネル展の開催

◎多摩社協ホームページ内にネットワーク連絡会のページを設置

◎幹事会・連絡会の開催

※相互に情報交換を行いながら、地域ニーズや課題把握に努め、地域における公益的な取り組み内容について検討。平成30年度も引き続き検討し、具体的な取り組みを実施予定。

② 市内大学・企業連携事業の推進

多摩市内の企業、大学のボランティア・社会貢献活動の具体的な取り組みにつながる機会として、「食」を通じた地域の支え合い活動と企業連携をテーマに、「第7回企業等情報交換の集い」を開催した。平成30年度も、地域課題に対して各企業・大学の持つ専門性を活かした具体的な活動に結びつくよう、さらにコーディネート機能強化に努めていく。ボランティアギフト制度の課題整理と見直し内容の検討・実施、(仮称)企業等連絡会の設置を行い、企業・大学等のボランティア・社会貢献活動への参加の後押ししていく。

③ 福祉協力店の拡充

福祉協力店の協力内容を見直し、新たに「赤い羽根・歳末たすけあい募金仕様の災害用自動販売機の設置」「貸し出し用車いすの設置」を追加した。結果、以下のとおり福祉協力店を増やすことができ、地域貢献活動を後押しするとともに、本会財源強化を図った。

◎平成29年度目標設置数：65店舗

→ 設置店舗数：66店舗（うち新規13店舗）

※災害用自販機設置：7店舗、車いす設置：4店舗

※市内大型店舗（2店舗）が新規に福祉協力店となった。

④ 【新規】自治会・町会・住宅管理組合等单位での車いすステーションの設置

自治会・町会・住宅管理組合の集会所に「車いすステーション」を設置し、災害時なども含め、身近な地域で車いすを使用できる環境を整えるべく、事業の条件や必要性について検討し、29年度はアンケート調査の項目を調整し、

30年度で調査の予定。

(2)【新規】【重点】生活困窮者支援の推進

① NPO等の支援及び連携

市内で子ども（誰でも）食堂を運営する団体に対し、各団体の課題やニーズを確認・把握し、事業運営上で必要な食材・消耗品等の購入支援を行った。フードバンク事業・学習支援等の生活困窮者支援に取り組むNPO・市民活動団体、自治会等の活動状況を把握しながら、必要な活動支援について検討し、制度整備を行う。

② 生活支援とフードバンク等事業の推進

パルシステム東京多摩センターと連携し、市内全組合員にフードドライブ（食料品の寄付）の協力を呼びかけた。また、市内企業の備蓄品の入れ替えに合わせて非常食の寄付を受け、貸付相談者で当座の食料が必要な方々に配布することで、制度の狭間となる課題・問題解決を図った。また、生活困窮者支援を行う団体にも食料を配布し、団体を通じて生活支援を推進した。

「平成29年度実績は以下のとおり」

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数： 63件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数： 31件

生活困窮者支援団体への配布件数：30件

5. 権利擁護の推進

(1)【新規】【重点】市民後見人の養成

成年後見制度の利用が増加する中で、地域の受け皿を広げていくために市民後見人の養成を行うため、権利擁護センター運営委員会において要綱等や取り組み方についての意見をいただき、平成30年度に八王子市社会福祉協議会と共催で実施するために調整を行った。

6. 多様な相談機会の提供

(1)【重点】相談窓口の拡充

専門機関等と連携し、相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、コミュニティエリア内での相談窓口を8か所から10か所（連光寺地区、和田地区）に拡大し、より身近な地域で相談できる環境を整えた。

【見直し検討・拡充】

1. 自治会・住宅管理組合福祉活動助成金の見直し

自治会・町会・住宅管理組合で行う、地域内におけるコミュニケーションの活発化を図るための事業等への助成から、地域の福祉活動に対しての助成にする等、方向性を見直しを検討し、まずは財源となる会員賛助金や歳末たすけあい運動への協力条件を盛り込み助成した。

2. 「障がい者と共にひとときの和」の充実

障がい者と小学生が相互に集う場をつくり、体験交流を通して障がいへの理解を深め、福祉に対する心を育てる交流会を福祉団体およびボランティア団体とともに開催した。開催校の意向に沿い、全校生徒を対象とした福祉体験や障がい理解の講話、介助犬のデモンストレーションを実施し、小学生が主体的に障がいについて考え、行動できるようなプログラムに取り組んだ。

3. 広報媒体の拡充

多摩社協活動など情報一元化を図るため、メールマガジンの配信を開始しました。フェイスブックなどのSNSの活用については、災害時を想定した災害ボラセン設置運営訓練について情報発信を行ったが、今後は常時の活用についてマニュアル等の検討を行う。また、ふくしだよりの紙面サイズの検討を行い、平成30年度よりタブロイド版からD4版とし、これまでよりも大きいサイズに変更し、各エリアの地域活動情報を1面に掲載するなど、見やすい紙面づくりに取り組んでいく。

◎メールマガジン登録者数（平成29年10月より配信）： 810名

4. 社会貢献活動に参画する機会の提供（老人福祉センター事業）

老人福祉センター事業を通じて、ボランティアポイント事業やボランティア活動、社会貢献活動の情報提供を積極的に行うとともに、寿大学受講者や同好会活動者が地域活動・ボランティア活動に参加する支援を行った。また、寿大学及び同好会活動への男性の参加が少ないことから、男性限定の講座を開講するなど男性に働きかける事業を充実していく。また、健康に関心がある高齢者が多いことから、健康増進につながる取り組みを進めるとともに、地域活動・ボランティア活動へ繋がるように支援していく。

5. 障がい者スポーツの推進

2020年東京パラリンピック競技大会開催に向けて、障がいの理解を深め、障がい者スポーツに関心を持ってもらえるよう、福祉フェスタや福祉大会にて、視覚障がい者スポーツの「サウンドテーブル」体験を実施した。アイマスク体験を通し、視覚障がい者への理解と障がい者スポーツへの関心につなげることができた。

6. 親なきあと相談会の実施

障がいのある方と親なきあとを心配している家族を対象に、行政書士による個別相談会を実施し、法制度やサービスの内容などの相談を受け、将来の準備を行う機会をつくった。障がいのある方に役立つ情報を提供することで、家族の漠然とした不安を少しでも解消できるよう、支援した。

1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

○コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

○たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりや居場所づくりに取り組みます。

取り組み	NO. 1-1-1 地域福祉コーディネーターの配置		
内 容	コミュニティエリアごとに配置し、住民の相談に応じ、多様な分野や業種と連携し、地域課題の解決に向けた取り組みや見守りや居場所づくりなど、住民主体の支え合いの仕組みづくりを支援します。		
事業種別・財源・担当係	重点	補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●地域包括支援センターエリアに合わせ配置	●コミュニティエリアに1名ずつ配置	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●地域包括支援センターと同様の担当エリア（1包括につき、2コミュニティエリア）に地域福祉コーディネーターを配置し、当該エリア内の地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら住民の相談に応じ、地域特性に合わせた課題の解決や支え合いの仕組みづくりを行っていく。		
取組結果	●コミュニティエリア（地域包括支援センターエリア）と合わせて12名を地域福祉コーディネーターとして配置した。 ●個別相談件数 251 件、地域支援件数 2437 件（延べ件数）（5月から3月）で、地域性に合わせ、課題解決や世代間交流等、子どもから高齢者まで幅広い対象の住民からの相談と活動、仕組みづくりに取り組んだ。		

取り組み	NO. 1-1-2 地域福祉推進委員会の運営支援
内 容	10 のコミュニティエリアごとに設置されている「地域福祉推進委員会」の運営を支援します。また、委員会に取り込めていない地域への支援も行います。

事業種別・ 財源・担当係	重点	自主・補助	まちづくり推進担当
	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	●既設置の地域福祉 推進委員会の支 援・充実	●和田エリアでの取 り組み検討（和田地 区コミュニティセン ター完成予定） ●一ノ宮地区での取 り組み検討	●和田地区にて地域 住民懇談会の開催 ●一ノ宮地区にて地 域住民懇談会の開催 ●乞田地区での取 り組み検討
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●既設置の地域福祉推進委員会については、住民が主体的に運営できるように支援する。また、委員会に取り込めていない地域に関しては、ニーズ調査等を行いながら、地域住民懇談会の開催に向けて準備を進める。（和田・一ノ宮地域等）		
取組結果	●10か所の地域福祉推進委員会では、継続して住民主体の運営支援を実施した。 ●唐木田地区の地域福祉推進委員会では世話人会の立ち上げ支援をし、住民主体による運営支援をした。		

取り組み	NO.1-1-3 各エリアの住民ニーズの把握		
内 容	地域の座談会やワークショップなど、地域性に合わせた方法で住民ニーズ・課題を把握し、明確化します。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	自主・補助	まちづくり推進担当
	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	●各地域福祉推進委 員会と連携し計画 ●5 エリアでニーズ 調査実施	●5 エリアでニーズ 調査実施	●10 エリアでのニー ズ調査まとめ
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●各地域福祉推進委員会でのグループワーク等の実施、各事業（講座等）で参加者に住民アンケートを実施し、ニーズや課題を把握し明確化していく。		
取組結果	●これまで抽出してきた地域課題を5エリアでまとめた。（関戸・一ノ宮、連光寺・聖ヶ丘、和田・東寺方・百草、馬引沢・諏訪、貝取・豊ヶ丘）また、過去の要点録からエリアごとの地域課題のまとめの素案を作成した。		

取り組み	NO. 1-1-4 各エリア別活動計画の策定		
内 容	各エリアのニーズ調査に基づき、地域課題を抽出し、各エリア地域福祉推進委員会の活動計画の策定に取り組みます。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域福祉推進委員会と連携し計画 ●ニーズ調査に合わせ 5 エリアの地域福祉推進委員会で試行的に作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズ調査に合わせ 5 エリアの地域福祉推進委員会で作成 ●フォーマット等の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ●全エリアで作成し、事業に反映する (後期実施計画に反映)
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●明確化した地域課題やニーズを基に、地域福祉推進委員会とも連携し、エリアの特性に合わせた地域活動計画を策定する。 ●計画策定のモデルエリアとして「関戸・一ノ宮」「連光寺・聖ヶ丘」「和田・東寺方・百草」「馬引沢・諏訪」「貝取・豊ヶ丘」の 5 エリアを想定。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●抽出した課題のまとめを基に、試行的に 5 エリアの活動計画の素案を作成した。(関戸・一ノ宮、連光寺・聖ヶ丘、和田・東寺方・百草、馬引沢・諏訪、貝取・豊ヶ丘) 		

取り組み	NO. 1-1-5 コミュニティエリアよりもさらに小エリアでの地域福祉活動の展開支援		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等单位（第 3 層）で地域福祉コーディネーターが相談支援や見守り・居場所づくり、住民主体の支え合いの仕組みづくりなどの支援を行います。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会、町会、住宅管理組合等の対象検討・ニーズ調査・調整（1～3 団体を選出） 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象の自治会、町会、住宅管理組合等でエリア担当のコーディネーターが支援開始 	<p style="text-align: center;">—————→</p> <ul style="list-style-type: none"> ●支援の継続と評価

平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ニーズや課題の抽出を行う中で、モデルとなる団体（自治会・住宅管理組合等）を選出し、助け合いの仕組みづくりについても当該団体の住民と検討していく。 ●2 団体（日常生活圏域ごとに 1 団体）を想定。
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンのない地域 2 地域（東寺方地区と永山 2 丁目地区）を選出した。自治会役員会等に伺い、居場所のニーズを確認し「居場所づくり（出前サロン）」等を実施した。 ●災害時の要配慮者図上避難訓練「LODE」を全市的に開催し、ニーズのあった地域 3 地域「百草団地地区」「豊ヶ丘 4 丁目・6 丁目地区」「永山瓜生小地区」で「LODE」を開催し、要配慮者の見守りの仕組みづくりを行った。

取り組み	NO. 1-1-6 活動拠点の整備（地域福祉コーディネーターの拠点）		
内 容	より小地域で住民が相談できる環境づくりや、地域福祉コーディネーターが地域包括支援センターなどの専門機関と連携し、一体となった活動展開をしていくための拠点をコミュニティエリア内に設けます。		
事業種別・ 財源・担当係	新規	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●モデルエリアを設定し、地域福祉コーディネーターを配置（1 か所） 	<ul style="list-style-type: none"> ●モデルエリアの評価 ●複数エリアへの展開を検討・調整
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティエリア内での地域福祉コーディネーターの拠点を検討・調査・調整し、市と協議していく。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●拠点としての場所の確保は、施設の管理面やハード的な課題があり市との協議が進まなかった。 		

取り組み	NO.1-1-7 自治会・町会・住宅管理組合福祉活動の支援（助成）		
内 容	自治会・町会・住宅管理組合等で行う、地域内におけるコミュニケーションの活発化を図るための事業や、福祉に関する事業に対し助成金を交付します。		
事業種別・財源・担当係	継続	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●一部見直し、実施	●見直し、実施	●実施
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●自治会、住宅管理組合の福祉活動助成金について、会員賛助金や、歳末たすけあい運動等の協力の有無を対象事業の条件に取り入れる等の見直しを行い、財源確保とより地域へ還元する事業内容へ移行する。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●当該助成金の財源である会員賛助金や歳末たすけあい運動への協力の有無を交付額に反映させ、財源確保及び地域への福祉活動に還元する助成事業への移行を行った。 (1 団体あたり 12,000 円～20,000 円) ●事業内容の移行により、今年度、あらたに会員賛助金や歳末たすけあいに取り組む自治会・住宅管理組合があった。 ●67 団体への助成を行った。(助成金総額：1,175,293 円) 		

取り組み	NO.1-1-8 たすけあい有償活動の推進		
内 容	高齢者・障がいのある人、病気を持っている人などで、日常生活でお困りの方を市民同士で支え合う有償活動を推進します。		
事業種別・財源・担当係	継続	自主	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●継続、実施 (登録協力員 210 人)	(登録協力員 220 人)	(登録協力員 230 人)
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●協力員の登録数を 210 人を目標に確保し、高齢・障がいなどのニーズに対応できる体制を充実させる。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度登録協力員数 181 名であった。(新規登録 32 名) 協力員の説明会の開催にあたっては、協力員が少ない桜ヶ丘地区、和田地区、百草地区、諏訪地区、愛宕地区、永山地区、貝取地区を重点地区としてポスティングを実施した。 ●また近隣の商業施設や老人福祉センター、郵便局などにも配架協力を行ったことで広い範囲からの申し込み増につながった。 		

取り組み	NO.1-1-9 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援		
内 容	高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等の立ち上げ・運営支援を行います。サロンの開催回数に応じて助成額を変更し、運営継続支援を行います。		
事業種別・財源・担当係	継続	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度) ●90 か所 ●助成金の見直し	平成 30 年度 (2018 年度) ●100 か所以上 ●助成額の変更	平成 31 年度 (2019 年度) →
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●市内のサロン 90 か所を目指す。 ●サロンの開催回数に応じて、助成金額を変更できるように要綱の見直しを行う。		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●新規サロン 8 箇所を含む登録サロン 72 団体のほか、ラウンジ活動も含め合計 83 団体が活動している。 ●サロン活動の充実と活動団体の拡大を図るため、助成基準および金額の見直しを行い、要綱を改正した。 ●サロン説明会を 2 回開催（8 月：10 人参加、2 月：9 人参加） ●2 月に市内全サロンを対象として交流会を開催。ボランティア団体等の協力のもと出前講座の体験を行い、サロン同士の交流に加えて、日頃のサロン活動に有用な情報の発信と交換をすることができた。（49 団体 79 人） ●地区別のサロン交流会を 3 エリアで開催。エリア内のサロン同士の交流や情報交換を行うとともに、住民が主体となって進めていく居場所づくりの重要性を共有する機会となった。（6 月：永山地区 23 人、12 月：鶴牧・落合・南野地区 27 人、3 月：連光寺・聖ヶ丘地区 27 人） ●自治会や老人クラブ、民生児童委員、地域包括支援センター等と連携し、サロンがない地域で出前サロンを実施（10～3 月：永山地区 延べ 76 人参加、3 月：東寺方地区 40 人参加） ●地域福祉推進委員会や民生児童委員、地域包括支援センターと連携を図り、サロン参加者に福祉情報を提供することで、認知症の方の見守り等ゆるやかな支援につながった。 ●サロン通信 4 回発行。（6 月、9 月、12 月、3 月） <p>※詳細は資料編参照</p>		

1-2 生活支援サービスの推進

○生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター等の関係機関や地域住民との連携を図りながら、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるような生活支援・介護予防の基盤づくりに取り組みます。

○介護保険法の介護予防・生活支援サービス事業である「訪問型サービスB」を実施し、住民主体による生活支援を推進します。

取り組み	NO.1-2-1 生活支援サービス事業の実施		
内 容	「新しい総合事業」に基づく、介護予防・生活支援サービス事業における、住民主体の生活支援に関わる訪問型サービスを実施します。		
事業種別・財源・担当係	継続	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度) ●継続(訪問型サービスB)	平成 30 年度 (2018 年度) ●見直し(介護保険法改正の状況を踏まえ検討)	平成 31 年度 (2019 年度) →
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●訪問型サービスBを受託し、サービス提供をする。 サービス提供にあたっては、地域包括支援センターや新規事業所、市役所とも情報共有を図りながら、連携を取り、進めていく。		
取組結果	●登録利用者数 25 名 (3 月末日現在) ●地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携により利用者が増えた。(今年度 19 名増加)		

取り組み	NO.1-2-2 生活支援コーディネーターの配置		
内 容	コミュニティエリア(第2層)での高齢者等を対象とした社会資源の把握やサービスの創出を行い、住民同士の支え合いの仕組みづくりに取り組みます。また高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。		
事業種別・財源・担当係	新規	自主・補助	まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度) ●多摩市日常生活圏域に合わせて配置 (2 圏域)	平成 30 年度 (2018 年度) ●多摩市日常生活圏域に合わせて配置 (5 圏域)	平成 31 年度 (2019 年度) →

	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所づくりや介護予防体操の普及など社会参加の促進のほかに、住民同士の支え合いの仕組みづくりの支援を行う 	
<p>平成 29 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援コーディネーターを日常生活圏域を基に配置し、高齢者の居場所づくりや、介護予防の促進など、地域包括支援センターや他の専門機関とも連携して活動を進めていく。 		
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源マップを地域包括支援センターエリアごとに作成した。 ●地域ケア会議（自立支援型含む）へ参加し、高齢者の個別ニーズの把握に努めた。 ●平成 3 0 年度実施に向け「近所 de 元気アップトレーニング」を高齢支援課、地域包括支援センターと連携し準備を進めた。また、サロン交流会で啓発を行った。 		

2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

取り組み	NO. 2-1-1 福祉に対する意識の醸成			
内 容	各種福祉イベント等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々に各種体験などを通じて、楽しみながら身近に福祉やボランティア・市民活動を感じてもらえる機会を提供することで、市民一人ひとりの福祉に対する意識の醸成を促進します。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助		総務係・ボランティア 担当
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	各種福祉イ ベ ントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタ の開催 ●ボランティア まつりの開催 ●福祉大会の開 催 	→	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタは、多摩ニュータウン環境組合及び唐木田コミュニティセンター運営協議会が行うイベント（たまかんフェスタ、菖蒲館まつり）と同日開催し、近隣地域内の事業所等とのつながりを深めながら福祉意識を醸成し、唐木田地域一帯の振興を図る。 ●ボランティアまつりは、昨年度までの課題を精査してまつりの内容を検討して実施する。 ●福祉大会は、内容を精査し開催時期や場所を含めて検討・実施する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉フェスタ実行委員会を設置し、実施目標のとおり近隣施設と連携し、同日開催した。各イベントの中心に位置するホームセンターが協力団体として加わった。平成 30 年度は大妻女子大学とも連携し、学園祭同日開催などさらに地域内のつながりを深め、福祉意識の醸成を図っていく。 ●1 月開催のボランティアまつり（第 9 回）は、地域や生活課題をテーマにした企画も取り入れ、市民への啓発となったが、より具体的な活動参加につながるように、内容やまつり自体を見直しし実施する。 ●福祉大会について検討し、平成 30 年度に法人化 45 周年福祉大会として、パルテノン多摩小ホールにて開催することにした。今後 5 年ごとに冠をつけて開催し、福祉協力店や自治会など積極的に福祉活動を行っている団体など広く表彰を行う。大会内容の詳細はイベント推進部会で検討を行う。 			

事業種別・ 財源・担当係	継続	受託		センター係	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	
活動計画 (年次計画)	障がい者理解 の促進	●障がい者と共 にひとときの 和の開催 (年 2 校)	→	→	→
		●障がい者スポ ーツを通じた 理解の促進 (年 3 回)	→	→	→
		●防災訓練や福 祉イベント、 学校等でのハ ンディキャッ プ体験の実 施・協力	→	→	→
		●関係機関と連 携した地域で の学習会やミ ニ理解講座等 の開催	→	→	→
		●講演会等の実 施 (年 2 回)	→	→	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じた障がい理解を深めるプログラムを実施する。 ●福祉団体との共催にて、障がい者スポーツイベントを実施し、障がい理解と交流を図る。 ●講演会を通じて、当事者や家族、支援者に役に立つ情報を提供するとともに地域住民における障がい理解を促進する。 				
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「ひとときの和」は開催校のニーズである発達障がいの理解講話及び介助犬講話を保護者・関係者と共に実施した。 ●福祉フェスタ及び福祉大会開催日に「サウンドテーブルテニス」（音を頼りに行う卓球/視覚障がい者スポーツの体験）や福祉に関するマークのカードゲームを実施し、福祉や障がい者理解の場を提供した。 ●市内コミセン等で実施の「福祉なんでも相談」にてヘルプカードの話題提供や、ケアマネ向けの高次脳機能障害について理解と対応の学習会を実施した。 				

<p>平成 29 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●団体、学校等と協力して、学校や企業・地域でのボランティアや、障がい者、高齢者理解へつなげる講座や体験を実施する。 ●たすけあい有償活動の協力員登録説明会を年 2 回、上半期、下半期各 1 回実施する。 ●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材発掘・登録を行う。 ●多摩社協の役員や評議員経験者など、地域福祉に理解のある方々を多摩社協活動協力員として、引き続き地域福祉活動と一緒に推進してもらえような仕組みを検討し、構築する。 			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新たに、市内の私立中学校（大妻多摩中学校）での福祉理解授業や、京王電鉄との「駅ボランティア体験講習会」を、内容の企画・講師派遣・当日運営等で連携し実施した。福祉教育・理解の促進を図り、地域でのボランティア人材の掘り起こしにつながるように、団体等との協働での取り組みや、シニア版ボランティアハンドブックの作成を検討する。 ●たすけあい有償活動の協力員説明会を 6 月（16 名参加、うち 9 名登録）と 1 月（19 名が参加、うち 13 名が登録）に開催した。 ●生活支援員事業説明会を 4 回開催し延べ 33 名が参加した。うち 7 名を生活支援員として登録した。 ●多摩社協活動協力員の活動内容の概要を規定。役員及び評議員経験者などを対象に説明会を開催し、23 名が登録。会員募集、福祉バザー、街頭募金などに参加し、活動した。今後、生活支援員を退任される方など地域福祉に理解のある関係者にも広く呼びかけていく。 			
<p>事業種別・ 財源・担当係</p>	<p>重点</p>	<p>自主・補助・受託</p>	<p>ボランティア担当、センター係、権利擁護センター</p>	
<p>活動計画 (年次計画)</p>	<p>ボランティア・地域活動者の育成支援（地域活動等参加促進プログラムの見直し、再構築）</p>	<p>平成 29 年度 (2017 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動へつなげるコーディネート方法の再構築 ●市民活動講座の開催（年 2 講座） ●夏のボランティア体験者の拡大（参加者 180 人） ●老人福祉センター「寿大学」、各種学習会の開催（年 20 講座以上） 	<p>平成 30 年度 (2018 年度)</p> <p>●充実</p>	<p>平成 31 年度 (2019 年度)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動支援センター講座の開催 (年 12 講座) ●成年後見に関する講座、学習会の開催 (年 5 回) ●多摩市介護予防ボランティアポイント事業の拡充(事業対象活動メニューの拡充等) (登録者 400 人) 	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p>	<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">→</p>
<p>平成 29 年度 事業計画 (実施目標)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動講座や夏のボランティア体験等を実施して、活動・体験後に活動先と協力して講座受講者・体験者が地域で活動できる場をコーディネートすることで、参加者増へつなげていく。 ●老人福祉センター寿大学「21 講座」うち新規講座 3 講座を予定。 ●障がいのある方を対象に講座を開催し、社会参加と交流の場を提供する。 ●成年後見制度に関する講座・学習会を開催し制度の普及啓発を行う。 ●多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会を毎月実施する。 			
<p>取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小中高の学校関係、高齢者団体・施設等への事業紹介や連携を通じ、夏のボランティア体験への参加者やボランティアポイント登録者の大幅な増加につながった(夏のボランティア体験参加者 339 名、ボランティアポイント登録者数 343 名) ●老人福祉センター寿大学「20 講座」うち新規 3 講座(バルーンアート、俳句、体幹ストレッチヨガ)を実施。バルーンアート受講者 3 名が市内で活動するバルーンアートのボランティア団体に加入して地域活動に参加。男性の参加を促すため、男性限定の講座(定員以上の応募有)を増やして取り組んだ。同好会活動者を対象にボランティアポイントの事業説明会を実施(延べ 180 名参加)するなど、事業周知に取り組んだ。 ●市民向けや障がい者とその家族に向けた成年後見制度の活用講座を 5 回開催し、延べ 178 名が参加した。 ●地域活動支援センターにて趣味・教養講座を年 5 講座 14 コース、その他月 2 回のパソコン個別相談会、言葉のこと相談会等実施した。 			

事業種別・ 財源・担当係	重点	自主・補助・受託 ボランティア担当、ま ちづくり推進担当、権 利擁護センター、セン ター係		
活動計画 (年次計画)	活動者へのフ ォローアッ プ及びスキルア ップ支援	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
		●体験や講座参加者のフォローアップの構築	●実施	→
		●たすけあい有償活動協力員研修会の開催 (年 2 回)	→	→
		●生活支援員研修会の開催 (年 2 回)	→	→
		●後見人懇談会の開催 (年 3 回)	→	→
		●同行援護従事者懇談会・研修会の開催 (年 2 回)	→	→
●登録手話通訳者、要約筆記者研修会の開催 (年 20 回)	→	→		
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●夏のボランティア体験や講座受講後、参加者へのアンケート等でニーズを把握して、どのようなフォローアップが良いか検討する。 ●たすけあい有償活動の協力員に対する研修を年 2 回、上半期、下半期各 1 回実施する。また、初任者向けとステップアップと研修内容を目的に合わせ変更する。 ●福祉サービス利用援助事業で活動する生活支援員の人材育成のため生活支援員研修会を実施する。 ●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。 ●同行援護従事者のスキルアップのための研修会と、日頃の活動について情報を共有し意見交換を行うための懇談会を開催する。 ●手話通訳者及び要約筆記者の意見を取り入れながら、技術向上のためのスキルアップ研修を実施する。 			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●「今の君でもできるボランティア」をテーマにした中高生むけのボランティアハンドブックを発行。学校関係者や地域への配布や案内を行い、ボランティア活動参加への後押しを図っている。 ●たすけあい有償活動研修は7月に基礎研修「訪問時の接遇とマナー（初めてでもちょっと安心活動時のあんな事・こんな事）」で13名が参加。12月にステップアップ研修「高齢者疑似体験から学ぶ～人の気持ちに寄り添う心～」を実施し、9名が参加した。 ●生活支援員のスキルアップとして、「高齢者の熱中症と地域包括支援センターの役割」「成年後見制度と市民後見人について」「安全運転講習」を実施し、延べ70名が参加した。 ●親族後見人、専門職後見人を対象にした後見人懇談会を3回開催し、延べ37名が参加した。 ●同行援護従事者のスキルアップ研修を京王バス南(株)の協力により同営業所にて実施し実際の支援に役立つ学びとなった。従事者懇談会では、情報共有及び事例をもとに意見交換を行い日頃の支援について見直すきっかけとした。 ●手話通訳者及び要約筆記者のスキルアップ研修を、それぞれ15・8回実施、研修を通じて実際の支援に役立つ学びとなった。
------	---

取り組み	NO. 2-2-2 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充			
内 容	多摩ボラセン登録団体に限らず、ボランティア団体、NPO・市民活動団体と連携を深める場を構築し、課題を共有しながら連携した活動展開を図ります。また、ボランティア活動等の振興及び活性化を図るため、多摩ボラセン登録団体の支援を強化し、多摩ボラセン担当登録団体への加入及び幅広い市民の地域活動への主体的な参加を促進します。			
事業種別・財源・担当係	継続	自主・補助		ボランティア担当
活動計画 (年次計画)	ボランティア団体、NPO・市民活動団体同士のネットワークの構築	平成29年度 (2017年度) ●ネットワーク化に向けた検討・ニーズ調査	平成30年度 (2018年度) ●構築	平成31年度 (2019年度) ●精査
平成29年度 事業計画 (実施目標)	●団体同士のネットワークのあり方についてニーズを調査して、結果を基に検討する。			
取組結果	●多摩ボラセン登録団体へのアンケート調査を年度末に実施し、現在調査の集計・とりまとめを行っている。結果の分析・検討を次年度で行いながら、ネットワークの構築の必要性も含め検討する。			

事業種別・ 財源・担当係	継続		自主・補助	ボランティア担当
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	多摩ボラセン 登録団体支援 の強化	● 支援内容の 検討	● 拡充	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●登録団体のニーズを確認した上で、支援内容について検討する。			
取組結果	●団体へのアンケート調査の結果から、各団体のニーズや課題を抽出し、支援の在り方について検討していく。			

2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

取り組み	NO.2-3-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築			
内 容	<p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題など、様々な地域課題を解決できるよう取り組みます。</p> <p>たまボランティアギフトの仕組みと企業情報交換の集いの内容を構築し、より参加につながるよう、支援します。</p>			
事業種別・ 財源・担当係	重点	自主・補助		総務係
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	市内社会福祉 法人連携事業 の推進	●法人連携事業 の検討（地域 ニーズの調 査）	●連携事業の 実施	●継続
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●地域公益活動に関するガイドブックを作成し、市内地域団体に配布することで、社会福祉法人の活動を見える化し、合わせて地域ニーズを把握しながら、各法人が地域で行う公益的な取り組みを促進する。</p> <p>●市内社会福祉法人ネットワーク連絡会にて、各法人が連携してできる事業を検討し、平成 30 年度からの事業実施を目指す。</p>			
取組結果	<p>●9月に発行したガイドブック「多摩市内社会福祉法人利用・活用サポートガイド」を新たな法人の取り組みも加え2月に改訂。登録・利用した団体が1団体だったため、平成30年度は地域福祉推進委員会等を通じてニーズを確認しながら、自治会等地域団体に積極的に情報発信していく。</p> <p>●2月に地域福祉シンポジウムを開催。アンケート結果及びシンポジウムの内容を受けて、平成30年度に具体的な取り組みについて検討し、実施していく。</p>			

事業種別・ 財源・担当係	重点	自主・補助		ボランティア担当	
活動計画 (年次計画)	市内大学・企業 連携事業の推 進	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	
		参加の方法 (①)・周知の機会 (②)・連携の場 (③) を設けて、企業等の参加促進を図る。			
		① 参加する仕 組み (たまボ ランティアギ フト) の再構 築	参加する仕組 み (たまボラ ンティアギフ ト) の充実 (活動企業・団 体: 5 社・団体)	→ (活動企業・団 体: 10 社・団体)	
② 情報周知の 機会・方法の 再構築	情報周知の機 会の充実 ●企業等情報交 換の集いの開 催 (年 1 回)	→			
③ 企業等の連 携の場 (仮 称: 企業等連 絡会) の検討	(仮称) 企業等 連絡会の設置	→			
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●たまボランティアギフトの見直しを行う。 ●企業等の情報交換の集いの内容を見直して開催し、より活動につながるための機会とする。 ●現在活動中の企業や、これから活動を希望する企業等が、情報を定期的に共有し、連携や意見交換を行う機会として (仮称) 企業等連絡会の設置について検討する。 				
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアギフトについては、見直しに着手できていないため、引き続き、次年度の中で課題整理を行い、社員のボランティア活動の参加につながるよう見直しを図る。 ●食に関する地域課題の取り組みをテーマに企業等情報交換の集いを 1 月ボランティアまつりの企画として開催。今後も地域課題等をテーマに企業等との具体的連携につながるようにしていく。 ●企業等連絡会 (仮称) の設置については、次年度も引き続き検討し、年度内に設置していく。 				

事業種別・ 財源・担当係	重点	自主・補助		総務係
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	福祉協力店の 拡充	●協力内容の見 直し 目標：65 店舗 以上	●新規協力店開 拓 目標：70 店舗 以上	●拡充 目標：75 店舗 以上
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●市内企業・事業所の地域貢献活動を後押しするため、福祉協力店の協力内容を見直し、拡充を図るとともに、新規福祉協力店の開拓を行う。</p> <p>●福祉協力店の活動をホームページや広報紙等へ掲載し広く周知しながら、新たな企業・事業所の福祉意識の醸成を図る。</p>			
取組結果	<p>【平成 29 年度福祉協力店舗実績】：66 店舗（うち新規 13 店舗） *コミュニティセンターを除く。</p> <p>●福祉協力店設置要綱を改正し、協力内容を拡充。新規協力店含めて 7 店舗に赤い羽根・歳末たすけあい募金仕様の災害用自動販売機を設置。また、車椅子貸出し店として 4 店舗が登録。</p> <p>●福祉フェスタでのつながりから近隣の大型ホームセンターが、また、ふくしだより 1 月号で福祉協力店特集を行い、大型ショッピングセンターが新規に福祉協力店に加わった。引き続き、新規協力店の開拓を行っていく。</p>			
事業種別・ 財源・担当係	新規	自主		まちづくり推進担当
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	自治会・町会・ 住宅管理組合 等单位での車 いすステーシ ョンの設置	●車いす設置助 成事業の検討	●実施	●精査
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<p>・自治会、町会、住宅管理組合の支援として、希望する団体の集会所に車いすを設置し、災害時等も含め地域で活用できる仕組みをつくる。また、車いす設置に関しては助成の仕組みを検討する。</p>			
取組結果	<p>●車いすの設置について、内部で意見交換を実施した。設置にあたっては、車いすの維持管理ができること等の条件を検討し、次年度に自治会・住宅管理組合にアンケートを実施後、施行する予定。</p>			

取り組み	NO. 2-3-2 生活困窮者支援の推進			
内 容	<p>基金等を活用した助成金の創設等を検討するなど、子ども食堂・学習支援・フードバンク事業などに取り組むNPO・市民活動団体、自治会等を支援します。</p> <p>また、関係団体と連携し、制度の狭間となるニーズに則した事業を実施します。</p>			
事業種別・財源・担当係	新規・重点	自主・補助	ボランティア担当	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	NPO等の支援及び連携	●活動団体の把握・支援内容の検討、実施	→	
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●課題やニーズを把握してどのような支援が必要か検討し、実施する。			
取組結果	●市内で「子ども（誰でも）食堂」を運営する 4 団体に対して、食材や消耗品等の支援を行った（100,000 円分）。東京都や多摩市の施策動向も踏まえ、必要な支援について、次年度以降も引き続き検討し整備する。			
事業種別・財源・担当係	重点	自主・補助	総務係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	生活支援とフードバンク等事業の推進	●貸付事業の実施 ●関係団体と連携したフードバンク等事業の推進	→	
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<p>●資金の貸付事業及び相談支援等を通じて生活困窮者支援ニーズを把握し、制度の狭間の問題・課題等に対して、フードバンク事業による一時的な食糧支援等を実施するなど、生活困窮者の安定した生活への立て直しを支援する。</p> <p>●フードバンク、フードドライブ事業の実施を通じて、民生委員、地域内事業所や生活困窮者支援団体等との連携を強化し、生活支援を推進する。</p>			

取組結果

●生活福祉資金相談件数は2,137件、うち貸付に至ったのが62件。近年学費のニーズが増加していることもあり、教育支援資金の相談が昨年度以上に多く、貸付件数も増えた。小口資金相談件数は688件、うち貸付に至ったのが23件。相談件数及び貸付件数は昨年よりやや減少している。生活保護世帯が6割程度を占めるのは変わらない傾向である。

●フードバンク・フードドライブ

パルシステム東京多摩センターと連携し、市内の組合員に物品寄付（フードドライブ）を呼びかけた。また、市内企業より備蓄品の入れ替えに合わせて非常食の寄付を受けた。

寄付品は、貸付事業を通じて必要な方に配布する他、市内の子ども食堂・だれでも食堂などを運営している団体に配布した。

- ・非常食寄付（フードドライブ）：63件
- ・非常食配布：貸付利用者等31件、生活困窮者支援団体30団体

3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の養成に努めます。

取り組み	NO.3-1-1 権利擁護センターの運営			
内 容	高齢者や障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し成年後見制度の普及啓発を行います。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助・受託	権利擁護センター	
活動計画 (年次計画)	福祉サービス 利用支援事業 の推進	平成 29 年度 (2017 年度) ●新規契約 25 件 ●普及啓発事業 継続	平成 30 年度 (2018 年度) ●新規契約 25 件	平成 31 年度 (2019 年度) ●新規契約 25 件
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●関係機関と連携し福祉サービス利用支援事業の普及啓発活動を行い、新規契約件数 25 件を目指す。			
取組結果	●平成 29 年度新規契約 20 件 内訳（地域福祉権利擁護事業 16 件 対象拡大 4 件）			
事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助	権利擁護センター	
活動計画 (年次計画)	成年後見制度 の利用促進	●【再掲】 成年後見に関 する講座・学 習会の開催 (年 5 回) ●相談事業継続		
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●成年後見制度の利用相談から申立支援まで、本人や親族に寄り添いながら相談支援を行う。 ●成年後見制度に関する普及啓発として講座・講演会を実施する。			
取組結果	●成年後見相談件数 88 件 ●成年後見制度に関する講座・講演会・相談会 延べ 8 回開催 参加者延べ 178 人			

事業種別・ 財源・担当係	継続		自主・補助		権利擁護センター	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)		
活動計画 (年次計画)	後見人等支援 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●【再掲】 後見人懇談会 の開催 (年 3 回) ●相談事業継続 			→	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●後見人等の活動における相談や家庭裁判所への報告書類の確認などの相談支援を行う。 ●成年後見活動における後見業務について、親族後見人・専門職後見人に対して後見人懇談会を実施する。 					
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●後見人懇談会 延べ 3 回開催 参加者延べ 37 人 講演内容：「親族の責任と後見人としての責任」「後見監督人等との付き合い方」「後見制度信託について」 					

取り組み	NO. 3-1-2 市民後見人の養成					
内 容	地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人の養成を行います。また、法人後見監督人となり市民後見人の後見活動等支援を行います。					
事業種別・ 財源・担当係	新規・重点		自主		権利擁護センター	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)		
活動計画 (年次計画)		<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人候補者 選考委員会の設置検 討・要綱整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成 を受けた人に対して ケース受任 ●法人後見監督人と して受任、市民後見 人の支援・監督 		→	
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成に向けた要綱整備や「市民後見人候補者選考委員会」の設置検討を行う。 ●モデルケースとして 1 件の市民後見人および法人後見監督人の受任を目指す。 					
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●権利擁護センター運営委員会において要綱等についてご意見をいただいた。 ●平成 30 年度に八王子市社会福祉協議会と共催で市民後見人養成を実施するため検討・調整を行った。 					

3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

取り組み	NO. 3-2-1 相談窓口の拡充		
内容	相談者の多様なニーズに応じるために、専門相談機能を充実させ、さらに身近な地域で相談を受けられる体制を作ります。また、関係機関と連携を図りながら地域福祉コーディネーターと包括的な相談体制を構築します。		
事業種別・財源・担当係	重点	自主・補助	まちづくり推進担当、他全係
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で専門相談を実施する体制の検討 ●地域福祉コーディネーターと連携し、包括的な相談体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で行う専門相談の拡充 ●精査、見直し、実施 	 <ul style="list-style-type: none"> ●実施
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●市内 8 カ所で実施しているふくし何でも相談で、専門機関等と連携しテーマ型の相談を実施するなど充実した相談体制を構築する。 ●地域福祉コーディネーターと各相談窓口が連携し、ワンストップで相談を受けて様々な専門機関等につないでいく。 ●ボランティア出張相談を毎月総合福祉センターで実施する。 また、年度の切り替り時及び夏のボランティア体験募集時期等に合わせてコミュニティセンターでも出張相談を実施する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●新たに連光寺福祉館と和田・東寺方コミュニティセンターで福祉なんでも相談を開催し、相談場所が 10 か所に増えた。市役所の都市計画課と連携した「居住者支援」の相談や 9 月の認知症月間は高齢支援課、地域包括支援センターとの連携、また、地域活動支援センターあんどとも連携し、テーマに応じた相談を実施した。 ●夏のボランティア体験やボランティアポイント等の受付など、身近な地域で市民が相談や手続きができるように各地で出張相談を実施。相談場所等の再検討を行い、より市民への浸透を図った。 		

3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

取り組み	NO. 3-3-1 災害ボランティアセンタースタッフボランティアの発掘・育成		
内 容	大規模災害時に、災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に設置・運営していくために、講座や活動を通じてボランティアの確保・育成に努めます。		
事業種別・財源・担当係	継続	自主・補助	ボランティア担当
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ●講座を実施して登録者を増やす (登録者数 40 人以上) ●登録者研修の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施 	<ul style="list-style-type: none"> (登録者数 50 人以上) (登録者数 60 人以上)
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●間口を広げた災害ボランティア入門講座を実施し、講座をきっかけに災害ボラセンの講座や演習・訓練へ参加者を結びつけ、スタッフボランティアを増やす。 ●スタッフボランティア登録者への研修について、実践的な研修内容にしていくよう内容について検討する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●災害ボランティア入門講座や災害ボラセン運営体験・訓練をはじめ、今年度、特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿の協力を得て、地域別・住居形態別の災害図上訓練（LODE）をまちづくり推進担当と共催で実施。スタッフボランティア登録者へのフォローアップを含め、地域における災害時支援体制づくりについて、効果的な手法の検討と実践を行う。 		

取り組み	NO. 3-3-2 「要配慮者からのメッセージ」の改訂及び周知		
内 容	災害時に要配慮者がおかれている状況や支援方法をまとめた冊子の内容を当事者の方の意見を取り入れながら見直すとともに、関係機関と連携して市民への周知を図ります。さらに、地域防災の取り組みでこの冊子を活用することで、地域での要配慮者の支援体制の充実に繋がるよう住民の方々と一緒に考えます。		
事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助	ボランティア担当、 センター係
活動計画 (年次計画)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●関連機関と連携して市民へ周知	●冊子の見直し検討 ●地域の支援体制についての協力	●冊子の改訂・充実 →
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練や市役所防災安全課と連携して地域の自主防災組織に働きかける。 ●小学校、中学校の総合学習の時間など、様々な機会を通じて配布、啓発を進める。 ●中学校の宿泊防災訓練にて配布し、避難所を想定した疑似体験学習を実施する。 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校や市総合防災訓練、災害ボラセン関連講座や同訓練時などで、市民に700部ほど配布し、要配慮者への支援方法の周知を行った。中学校の避難所宿泊訓練にて車イスとアイマスク体験を実施し、要配慮者への理解を図った。次年度の中で、メッセージの改訂を行い、引き続き地域での要配慮者の理解促進を図っていく。 		

3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

取り組み	NO.3-4-1 社協広報媒体の拡充			
内 容	多摩社協及び多摩ボラセンホームページ、多摩社協発行の各種広報紙、フェイスブックなどのSNS、メールマガジンの配信など、様々な年代の方々、障がいのある方々のニーズに則した広報の充実を図ります。また、地域福祉推進委員会エリアごとの地域情報の充実や災害時に迅速に情報発信できる仕組みを構築します。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助		総務係、ボランティア 担当
活動計画 (年次計画)	ホームページ の充実	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
		●情報コンテンツの充実 ●災害時緊急モード設定の検討	●実施 ●実施	●精査 ●精査
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●ホームページトップ画面のコンテンツや各種イベント等事業情報のページ、市内社会福祉法人の地域公益的な取り組み紹介ページを新たに設けるなど、ホームページの拡充を図る。 ●災害時に迅速に市民へ情報を発信できるように、画面の構成、内容等について検討する。			
取組結果	●市内社会福祉法人ネットワーク連絡会、福祉協力店のページを新設。メールマガジンの登録・解約ページを設置。引き続き、イベントを案内するページやフェイスブックの新設、トップページ（階層等含む）の見直しを行っていく。合わせてスマートフォン対応のサイトを構築する。 ●災害ボラセン設置・運営訓練時に、SNSを活用した情報発信を行った。災害時を想定したホームページの運用について引き続き検討し、平成30年度中に構築する。			

事業種別・ 財源・担当係	継続	自主・補助		総務係、まちづくり推 進担当、他全係	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	
活動計画 (年次計画)	広報紙の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしだよりの デイジー化 ●多摩社協発行 各種広報紙の 情報一元化の 検討 ●地域福祉推進 委員会エリア ごとの地域情 報の拡充 	●実施・デイジ ー化	●精査	→
					→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしだよりのデイジー化を実施する。 ●多摩社協で発行している各種広報紙の情報を一元化するなど、多摩社協の活動をより市民に知ってもらえるような工夫を検討する。 ●各地域福祉推進委員会で広報紙を発行し、地域情報を充実させ地域に発信していく。 				
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしだよりをデイジー化した。18名に送付。 ●多摩社協活動情報を一元化した内容をメールマガジン通じて配信することにした（10月より配信）。 ●9か所の地域福祉推進委員会で地域独自の情報をまとめた広報紙を世話人を中心とした地域住民と共に作成し、自治会・住宅管理組合等の協力を得て地域へ配布した。 				

事業種別・ 財源・担当係	継続	自主	総務係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● Facebook 活 用の検討（シ ステムの整 備・設置）・実 施 ●多摩社協メー ルマガジンの 検討・配信 	<ul style="list-style-type: none"> ●精査 ●精査 	<ul style="list-style-type: none"> ●実施 ●実施
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●Facebook の導入に向け、画面構成や利用方法などの整備を進め、双方向性の特徴を活かして、随時の情報発信や閲覧者からの情報収集などに役立てる。 ●メールマガジンの配信について検討し、多摩社協会員をはじめ多くの方々に積極的に福祉情報を配信する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時に対応した情報発信訓練を、フェイスブックを活用して実施。平常時から情報発信できるようにマニュアルなどを整備していく。 ●メールマガジンを 10 月より毎月 15 日に配信した。登録者数 810 人。登録 QR コードをちらしなどに常に掲載し、登録者数を増やしていく。 			

3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

取り組み	NO.3-5-1 老人福祉センターの充実			
内 容	高齢者が充実した生活を送るために、健康増進・生きがい作り事業を実施するほか、今までの生活で得た知識や経験をボランティア活動や地域活動等に活かせるよう、社会貢献活動の情報提供や活動につながる講演講座等を実施します。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	受託	センター係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	高齢者の健康増進・いきがいを目的とした講座の充実	●年間 20 講座以上（うち新規講座 2 講座以上）	●高齢者のフレイル予防に関する講座を新規に実施	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●年間 21 講座、新規講座 3 講座（バルーンアート、俳句、体幹ストレッチヨガ）予定 ●認知症における啓発事業の強化（認知症サポーター養成講座の実施、認知症ケアパスの配布・周知、認知症啓発コーナーの常設等） ●新規事業「おとうさん、おかえりなさい（仮）」事業の実施 ●老人福祉センター利用者ニーズ調査の実施 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●年間 20 講座うち新規講座 3 講座（バルーンアート、俳句、体幹ストレッチヨガ）を実施。バルーンアートの受講者が世代間交流事業に参加するなど、地域活動につながるきっかけづくりを行った。また、男性限定の料理講座を前期・後期と 2 回実施し、男性の参加者の増加につながった。 ●9月に認知症サポーター養成講座を実施。また認知症啓発コーナーの常設をし、認知症に対する啓発を強化した。 ●男性の地域デビューのきっかけづくりの一環として、3月に男性限定の体操講座を実施。講座終了後、アンケートを実施し、意識調査を行った。また、寿大学や同好会の案内を行い、30年度の寿大学の体操講座へ受講者の中から 8 人が申し込みを行った。 			

業種別・ 財源・担当係	継続	受託	センター係	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
活動計画 (年次計画)	社会貢献活動 に参画する機 会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動・地域活動につながる講演講座の実施（年間 2 講座以上） ● 同好会（自主活動グループ）のボランティア活動・地域活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動・地域活動きっかけ講座の実施 	<div style="text-align: right;">→</div>
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ● たすけあい有償活動協力員、権利擁護センター生活支援員、合同事業紹介登録説明会を開催する。 ● ボランティアポイント、地域福祉推進委員会事業、サロン事業等の周知を強化する。 ● 同好会におけるボランティア活動支援及びボランティアポイント登録支援を行う。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア団体に依頼し、バルーンアート講座を寿大学で実施。受講生が講座終了後にボランティア団体へ加入したり、世代間交流事業へ参加するなど地域活動へ参加する機会となった。 ● 同好会説明会や春の発表会でボランティアポイントの説明を多摩ボラセンと連携して行い、ボランティアポイントの周知を図ると共に地域活動への参加を促した。また、同好会にボランティアの情報を提供した。新しくボランティア活動に繋がった団体が 2 団体あった。また、ボランティア活動を継続している団体（1 団体）の活動支援を継続していく。 ● 地域福祉推進委員会作成の地域情報の広報紙（10 地域）を老人福祉センターフロアに常設し、地域情報の発信に努めた。 			

取り組み	NO.3-5-2 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実			
内 容	地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい理解の機会の提供を行います。また、また、障がいのある方と家族の安心のために「親なきあと」のことについて一緒に考えます。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	受託	センター係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	利用者のニーズに沿った活動やツールの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●音声・拡大読書機やタブレット等の利用支援や窓口での活用 ●高次脳機能障がい者向けのプログラムの実施 	→	→
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●音声・拡大読書機の貸出しと活用する場所を提供し、視覚障がい者の情報取得と社会参加を支援する。 ●センター窓口でタブレット等を活用することで、意思疎通の向上を目指すと同時に事業を分かりやすく案内し、利用者の利便性を高め、利用の拡大に繋げる。 ●高次脳機能障がい者を対象として、月 1 回程度ヨガや調理などのグループ活動を実施し、当事者同士の交流と社会参加を支援する。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●音声・拡大読書器の貸出しは周知が不十分であり利用率が低かったため、関係団体等の協力を得て周知を行なっていく。 ●タブレットはアプリをダウンロードし窓口で使用できるよう準備した。 ●高次脳機能障がい者を対象としたリフレッシュヨガを毎月第 1 土曜日午前中に実施し当事者 7 名と家族 2 名が参加した。 			

事業種別・ 財源・担当係	新規	受託	センター係	
活動計画 (年次計画)	将来安心した 生活を送るた めの相談会等 の実施	平成 29 年度 (2017 年度) ●親なきあと相談 会の検討・実施	平成 30 年度 (2018 年度) ●精査	平成 31 年度 (2019 年度) ●実施
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●行政書士等の専門職を講師として、年間 6 回程度の「親なきあと相談会」を実施する。 ●開催場所については総合福祉センターのみならず、身近で相談しやすいようにコミュニティセンター等の地域においても検討・実施する。			
取組結果	●福祉センターにて 10 月より計 3 回実施し好評であった。今後も市内事業所や福祉団体等に周知を行うことで申込者拡大と事業の認知度向上につなげていく。			
事業種別・ 財源・担当係	継続	受託	センター係	
活動計画 (年次計画)	プログラムを 通じたボラン ティアの育成 と障がい者理 解の促進	平成 29 年度 (2017 年度) ●水浴訓練室等 でのボランティア 育成 ●防災訓練や福祉 イベント、学校 等でのハンディ キャップ体験の 実施・協力及び ボランティアの 育成 (年 5 回) ●関係機関と連携 した地域での障 がい者理解の機 会の提供	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	●水浴訓練室等でのボランティア獲得のための PR 活動を充実し、ボランティア講座 (年 1 回) を実施する。 ●防災訓練や福祉イベント等での障がい者理解の啓発の他、学校等での障がい者理解について、要望に合わせたプログラムを提案し実施する。 ●当事者や団体等と連携し、高次脳機能障害ミニ講座や当事者による障害者差別解消法の解説など様々なテーマで、地域での障がい理解の機会を提供する。			

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●今期は水中運動ボランティア講座ではなく随時募集を行い希望者への個別説明や体験入水を実施し2名が登録した。 ●障がい者理解の啓発として、小 P 連の役員学習会にて障がい当事者の講話とアイマスク体験、9 月多摩市総合防災訓練にてアイマスク体験、10 月福祉フェスタ・2 月福祉大会にてサウンドテーブルテニス体験等を実施した。 ●高次脳機能障害者支援促進事業では、市民や関係者に向けた臨床心理士による「心理的サポート」をテーマにした臨床心理士による講演を行い相談事例から見える共通課題について具体的なアドバイスが好評であった。
------	---

取り組み	NO. 3-5-3 障害福祉サービスの提供			
内 容	同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。			
事業種別・財源・担当係	継続	自主・受託	センター係	
活動計画 (年次計画)		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
	●同行援護従事者派遣事業の推進	●適切なサービスの提供	→	
	●意思疎通支援事業（手話通訳者派遣・要約筆記者派遣）の推進	●社会参加の促進	→	
		●他機関との連携による利用者支援	→	
平成 29 年度 事業計画 (実施目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●技術や制度の現状等の内部研修を実施し、活動者のスキルアップを図り、サービスの質を高める。 ●派遣調整を行う事業所によるコーディネーター連絡会に参加し、情報交換を行い、連携していく。 			
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ●手話通訳者及び要約筆記者のスキルアップ研修を医療事例など実際に即した内容で実施。同行援護従事者研修会は企業の協力を得てバスの乗り降り等実際の場面に即した研修会を実施できた。 ●意思疎通支援事業・同行援護事業ともに関係職員向け研修会や連絡会に参加し、情報交換と関係者との連携を行った。 			

平成29年度 事業報告書

附属明細書

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (H29. 4. 4)	第7回 (H29. 10. 5)
第2回 (H29. 5. 11)	第8回 (H29. 11. 6)
第3回 (H29. 6. 2)	第9回 (H29. 12. 5)
第4回 (H29. 7. 6)	第10回 (H30. 1. 16)
第5回 (H29. 7. 28)	第11回 (H30. 2. 5)
第6回 (H29. 9. 8)	第12回 (H30. 3. 6)

平成 30 年 3 月 31 日現在の役員・評議員の状況

	理事	監事	評議員
定数	10～15	2	30～35
現員数	15	2	33

(2) 理事会の開催

第1回 (H29. 6. 6)	出席者 12 名
【審議事項】	
第 1 号議案	定款変更について
第 2 号議案	部会規程の一部を改正する規程の制定について
第 3 号議案	経理規程の一部を改正する規程の制定について
第 4 号議案	定款変更に伴う条文変更による関係規程等の整備に関する規程の制定について
第 5 号議案	平成 28 年度事業報告について
第 6 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支計算書について
第 7 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支計算書について
第 8 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支計算書について
第 9 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分応急小口資金貸付事業拠点区分資金収支計算書について
第 10 号議案	平成 28 年度社会福祉事業区分歳末たすけあい運動事業拠点区分資金収支計算書について
第 11 号議案	平成 28 年度公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支計算書について
第 12 号議案	平成 28 年度収益事業区分自動販売機設置運営事業拠点区分資金収支計算書について
第 13 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第 1 号)について
第 14 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第 1 号)について
第 15 号議案	平成 29 年度第 1 回評議員会(定時評議員会)の招集について
第 2 回 (H29. 6. 22)	出席者 15 名
第 16 号議案	会長及び副会長並びに常務理事の選任について
第 17 号議案	個人情報保護規程の一部を改正する規程の制定について
第 3 回 (H29. 9. 28)	出席者 13 名
第 18 号議案	個人情報保護規程の一部を改正する規程の制定について
第 19 号議案	特定個人情報等取扱規程の一部を改正する規程の制定について
第 20 号議案	就業規則の一部を改正する規則の制定について
第 21 号議案	嘱託職員雇用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
第 22 号議案	臨時職員雇用規則の一部を改正する規則の制定について
第 23 号議案	育児休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
第 24 号議案	介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

第 25 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第 2 号)について
第 26 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第 2 号)について
第 27 号議案	平成 29 年度第 2 回評議員会の招集について
第 4 回 (H30. 1. 25) 出席者 14 名	
第 28 号議案	給与規程の一部を改正する規程の制定について
第 29 号議案	ふれあい・いきいきサロン活動推進要綱の一部を改正する要綱の制定について
第 30 号議案	職員被服貸与規程の一部を改正する規程の制定について
第 31 号議案	平成 29 年度福祉大会における被表彰者の決定について
第 32 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第 3 号)について
第 33 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分老人福祉センター受託事業拠点区分資金収支補正予算(第 1 号)について
第 34 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第 3 号)について
第 35 号議案	平成 29 年度第 3 回評議員会の招集について
第 5 回 (H30. 3. 15) 出席者 13 名	
第 36 号議案	定款細則の制定について
第 37 号議案	ボランティア活動等振興助成金要綱の一部を改正する要綱の制定について
第 38 号議案	近所 de 元気アップトレーニング活動助成金交付要綱の制定について
第 39 号議案	小口資金貸付事業の不納欠損処理について
第 40 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第 4 号)について
第 41 号議案	平成 29 年度社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第 4 号)について
第 42 号議案	平成 30 年度事業計画について
第 43 号議案	平成 30 年度社会福祉事業区分資金収支予算について
第 44 号議案	平成 30 年度公益事業区分資金収支予算について
第 45 号議案	平成 30 年度収益事業区分資金収支予算について
第 46 号議案	平成 29 年度第 4 回評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

第 1 回 (H29. 6. 22)	出席者 27 名
第 2 回 (H29. 10. 11)	出席者 26 名
第 3 回 (H30. 2. 14)	出席者 24 名
第 4 回 (H30. 3. 26)	出席者 28 名

(4) 監査の概要

- 第 1 回 (平成 28 年度決算監査) (H29. 5. 25) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。
- 第 2 回 (平成 29 年度中間決算監査) (H29. 11. 15) 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。

(5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第1回	(29. 9. 26)	出席者 10名
	第2回	(30. 3. 16)	出席者 9名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第1回	(29. 6. 7)	出席者 8名
	第2回	(29. 6. 28)	出席者 11名
	第3回	(29. 8. 4)	出席者 11名
	第4回	(29. 12. 25)	出席者 10名
	第5回	(30. 2. 22)	出席者 11名
	第6回	(30. 3. 30)	出席者 7名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第1回	(29. 5. 22)	出席者 5名
	第2回	(29. 9. 1)	出席者 6名
	第3回	(30. 3. 23)	出席者 5名

役員選考委員会			
開催状況	第1回	(29. 6. 8)	出席者 6名

苦情解決第三者委員会			
開催状況	第1回	(29. 8. 3)	出席者 3名

(6) 各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第1回	(29. 5. 15)	出席者 7名
	第2回	(29. 9. 21)	出席者 7名
	第3回	(29. 12. 11)	出席者 6名
	第4回	(30. 2. 28)	出席者 7名

広報広聴部会			
開催状況	第1回	(29. 5. 16)	出席者 7名
	第2回	(29. 6. 12)	出席者 8名
	第3回	(29. 6. 27)	出席者 9名
	第4回	(29. 8. 28)	出席者 5名
	第5回	(29. 10. 23)	出席者 7名
	第6回	(29. 12. 18)	出席者 9名
	第7回	(30. 2. 26)	出席者 6名

イベント推進部会			
開催状況	第1回	(29. 4. 18)	出席者 10名
	第2回	(29. 11. 21)	出席者 11名
	第3回	(30. 1. 30)	出席者 8名

地域福祉まちづくり部会			
開催状況	第1回	(29. 5. 26)	出席者 13名
	第2回	(29. 9. 26)	出席者 9名
	第3回	(30. 1. 11)	出席者 11名
	第4回	(30. 3. 5)	出席者 14名

部会連絡会	
開催状況	第1回 (30. 1. 11) 出席者 6名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	25	26	27	28	29
後援名義使用許可件数	33件	36件	33件	23件	25件

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

年度	29
登録者数	23人

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
25	5	H25. 8. 1～9. 10 (24 日) 1 人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～9. 10 (24 日) 1 人	聖徳大学
		H26. 2. 3～3. 7 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～8. 9 (7 日) 1 人 (社会教育実習)	立教大学
26	5	H26. 8. 1～9. 12 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H27. 1. 29～3. 6 (24 日) 1 人	大妻女子大学
		H27. 2. 16～2. 24 (8 日) 2 人	大妻女子大学
27	6	H27. 8. 3～9. 11 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H27. 8. 3～9. 1 (18 日) 1 人	大妻女子大学
		H27. 10. 2～11. 10 (24 日) 1 人	明星大学
		H28. 2. 1～3. 7 (24 日) 2 人	大妻女子大学
28	5	H28. 8. 1～9. 8 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H28. 10. 3～11. 15 (24 日) 2 人	明星大学、武蔵野大学
		H29. 2. 1～3. 8 (24 日) 1 人	大妻女子大学
29	5	H29. 8. 1～9. 6 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H29. 10. 5～11. 27 (25 日) 2 人	明星大学、武蔵野大学
		H30. 2. 7～3. 15 (24 日) 1 人	大妻女子大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
25	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課	
26	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課	多摩大学(中村そ の子ゼミナール)
	1	社会福祉協議会の役割とボランティア通信での連携 について	
	1	ふくしだよりを通じた社会福祉協議会の活動につい て	
27	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
28	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
29	1	ボランティア活動をはじめるにあたって	東京医療学院大学
	2	地域の保健医療福祉	

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
25		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布（平成 25 年度から実施） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープ、デイジー版（29 年度より実施）を視覚障がい者に送付） 	タブロイド版 72,000 部	399,000	3,386,234
26			タブロイド版 70,000 部	375,000	3,402,395
27				543,000	4,601,876
28				397,000	3,674,987
29				300,000	3,408,749

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等収入	バザー経費	収益額	備考
25	26. 2. 22(土) 11:00 ～15:00	総合福祉センター	519,815 (335,315)	135,890	383,925	協力：10 団体 参加：24 団体 ※2.19～21 までプレバザー実施
26	27. 1. 24(土)、 2. 18(水) ～21(土) 10:00 ～15:00	ヴィータ及び総合福祉センター	470,362 (404,870)	88,599	381,763	ボランティアまつり、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
27	27. 10. 18(日)、 28. 2. 24(水) ～27 (日) 10:00 ～15:00	総合福祉センター	678,401 (643,711)	41,256	638,645	福祉フェスタ、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施
28	28. 10. 16(日)、 29. 2. 22(水) ～25 (土) 10:00 ～15:00		734,905 (570,365)	64,984	669,921	
29	29. 10. 15(日)、 30. 2. 21(水) ～24 (土) 10:00 ～15:00		693,265 (673,915)	83,392	609,873	

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附金等その他収入を含む。

() 内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
27	27. 10. 18(日) 10:00 ～16:30	総合福祉センター およびアクアブル一多摩	約 4,000 人 ※天候：晴	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん ・東日本大震災復興支援フェア ・特別企画「被災地復興の現状について」（講演：石巻元気復興センター）、「ライブ手話ソング」（出演：水戸真奈美氏） 	協賛・協力：32 団体 参加：54 団体 協力者（ボランティア）74 人
28	28. 10. 16(日) 10:00 ～15:30	総合福祉センター およびアクアブル一多摩	約 4,500 人 ※天候：くもり	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：27 団体 参加：63 団体 協力者（ボランティア）62 人
29	29. 10. 15(日) 10:00 ～15:00	総合福祉センター およびアクアブル一多摩	約 4,200 人 ※天候：雨	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・多摩市共催 地域福祉フォーラム ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん 	協賛・協力：28 団体 参加：65 団体 協力者（ボランティア）71 人

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
25	26. 2. 22(土) 9:30 ～10:10	総合福祉センター3 階 多目的フロア	式典（表彰状：個人 15 人、感謝状：個人 3 人、17 団体） ※法人化 40 周年記念福祉大会として記念誌を作成し、配布	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 24 人 ・来賓者 21 人 ・来場者 40 人
26	27. 2. 21(土) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブル一多摩	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表等 ・式典（表彰状：個人 27 人、感謝状：個人 9 人、11 団体） ・多摩市長による講演会「多摩市版地域包括ケアシステムについて」、社協会長との対談 協力：2 団体、参加：30 団体、協賛：6 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 31 人 ・来賓者 18 人 ・来場者 3,000 人
27	28. 2. 27(土) 10:00 ～16:30		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表、無料映画上映会 ・式典（表彰者：個人 20 人、感謝状：個人 5 人、18 団体、東京都共同募金会多摩地 	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 38 人 ・来賓者 19 人 ・来場者 1,800 人

			区協力会感謝状：4 団体) ・多摩市医師会会長(田村豊氏)による講演： 「医療と福祉の連携～いつまでも元気で楽しく暮らしていくには～」 協力：1 団体、参加：21 団体	
28	29. 2. 25 (土) 10:00 ～16:00	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・式典(表彰者：個人 30 人、6 団体) 感謝状：個人 8 人、14 団体 第 4 次地域福祉活動計画概要報告 ・映画「無念」チャリティ上映会 協力：1 団体、参加：32 団体	・受賞者 39 人 ・来賓者 20 人 ・来場者 1,800 人
29	30. 2. 24 (土) 10:00 ～15:00	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・バリアフリー映画上映会 ・式典(表彰者：個人 27 人、4 団体) 感謝状：個人 5 人、16 団体 平成 29 年度事業報告 フラダンス同好会ステージ発表 協力：1 団体、参加：25 団体	・受賞者 36 人 ・来賓者 21 人 ・来場者 1,000 人

(5) メールマガジン配信状況

年度	29
登録者数	810人
配信回数	6

※原則毎月15日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

年度	29	
店舗数	66	
(内訳) 協力内容	募金箱	53
	広報紙	60
	自販機	7
	車椅子	4

※平成29年度より協力内容に新たに災害用自動販売機（自販機）及び車椅子設置を追加

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

区分・単価 (円)	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
	件数	会費	件数	会費	件数	会費	件数	賛助金	件数	賛助金
個人会員 @500以上	2,534	1,267,000	2,559	1,279,500	3,497	2,377,547	3,320	2,287,211	3,302	2,457,118
団体会員 3,000以上	111	374,000	126	428,500	134	463,500	151	504,000	168	559,500
賛助会員 1,000以上	806	968,000	793	961,000						
特別会員 10,000以上	72	845,000	86	975,000	95	1,075,000	102	1,245,000	120	1,385,000
合計	3,523	3,454,000	3,564	3,644,000	3,726	3,916,047	3,573	4,036,211	3,590	4,401,618

(2) チャリティーゴルフ大会

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
25	25.6.24 (月)	桜ヶ丘 カントリー クラブ	157人	480,000	605,651	453,296	632,355	協賛： 41団体、個人4人
26	26.6.23 (月)		176人	455,000	587,498	381,696	660,802	協賛： 45団体、個人3人
27	27.6.29 (月)		143人	302,000	417,200	68,768	650,342	協賛： 40団体、個人5人
28	28.6.27 (月)		162人	332,000	371,400	70,987	632,413	協賛： 41団体、個人4人
29	29.6.19 (月)		165人	340,000	399,000	75,751	663,249	協賛： 46団体、個人4人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一般寄付		1,332,287	6,467,146	1,209,746	2,028,021	2,196,329
指定 寄付	ボランティア 基金	50,000	68,810	61,000	15,285	9,557
	ボランティア・ 市民活動支援	466,794	365,377	595,245	181,347	244,688
	小地域 福祉活動	-	11,122	100,000	95,000	46,961
合計		1,651,021	6,995,062	1,743,933	2,779,266	2,497,535

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,909,000	4,490,500	91.5	4,805,000	4,540,550	94.5

② 支出の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,909,000	3,854,683	78.5	4,805,000	4,047,194	84.2

(2) 福祉団体補助

①平成29年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	15団体	
	① おしゃべりノササゲの会	(パーキンソン病患者と家族の会)
	② くぬぎ	(知的障がい児者の会)
	③ サンクラブ多摩	(精神障がい者の家族会)
	④ 多摩市失語症友の会こだま	(失語症当事者の会)
	⑤ 多摩市視覚障害者福祉協会	(視覚障がい者当事者の会)
	⑥ 多摩市手をつなぐ親の会	(知的障がい児者と保護者の会)
	⑦ 多摩市遺族会	(遺族会)
	⑧ 多摩市身体障害者福祉協会	(身体障がい者当事者の会)
	⑨ 多摩市手をつなぐ育成会	(全日本手をつなぐ育成会加入団体)
	⑩ 多摩市聴覚障害者協会	(聴覚障がい者当事者の会)
	⑪ 多摩草むらの会	(精神障がい者と家族の会)
	⑫ 多摩やまばと会	(原爆被爆者の会)
	⑬ プレイルームゆづり葉の家	(知的障がい児者の会)
	⑭ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ	(ひとり親家庭の会)
⑮ 障がい者自立支援センター多摩	(精神障がい者の会)	
補助金額	総額 2,509,712円 (内訳) ①事業費 2,455,852円 (15団体) ②平和式典参加費 53,860円 (1団体)	

②過去5年間の状況

単位：円

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
補助団体	14団体	14団体	14団体	14団体	15団体
補助総額	2,821,160	2,801,927	2,406,958	2,464,440	2,509,712

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000円(年額) ※会報紙に充当

(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
対象団体	自治会	94団体	94団体	94団体	93団体	94団体
	管理組合	100団体	101団体	101団体	105団体	102団体
	計	194団体	195団体	195団体	198団体	196団体
助成団体	自治会	19団体	26団体	31団体	36団体	33団体
	管理組合	30団体	31団体	34団体	35団体	34団体
	計	49団体	57団体	65団体	71団体	67団体
助成総額		980,000	1,117,700	1,286,750	1,407,550	1,175,293

単位：円

※上限額：1団体2万円

※申請受付期間：4月1日～6月30日（交付決定8月）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,892,000	3,503,611	71.61	4,797,000	3,157,585	65.8

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,892,000	3,389,535	69.28	4,797,000	2,892,285	60.3

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①平成29年度実績

開催会場 開催日時	① 愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～4時・10回実施) ② ひじり館 第3金曜日 (" " ・11回実施) ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～3時・12回実施) ④ わいわいショップ第2火曜日 (午後2時～4時・11回実施) ⑤ 百草団地 第4水曜日 (" " ・10回実施) ⑥ トムハウス 第2火曜日 (12時30分～午後1時30分・9回実施) ⑦ からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～4時・10回実施) ⑧ 桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日 (午後2時～4時・11回実施) ⑨ 連光寺福祉館 (午後2時～3時30分・4回実施) ⑩ 大栗川かるがも館 第4火曜日 (午後2時～4時・2回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどと連携し、専門相談への対応を図る。
対 象 者	市民全般
相談件数	相談件数86件(高齢69件、障がい5件、その他12件) 事業参加者226人 *前年度同期58件(高齢47件、障がい6件、その他5件) 事業参加者235人
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩市役所都市整備部都市計画課、高齢支援課、地域活動支援センターあんど

②過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	68	114	99	58	86

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①平成29年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・・1年目 20,000円、2年目 10,000円、3年目以降 5,000円> ・保険加入団体72団体 保険料総額 508,300円
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

②過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録団体数	46	43	52	63	72
助成団体数	25	20	23	54	60
助成総額 (単位：円)	200,000	175,000	275,000	475,000	470,000

③ふれあい・いきいきサロン説明会

開催日時	第1回 平成29年 8月 4日(金) 午前10時～11時30分 第2回 平成30年 2月27日(火) 午前10時～11時30分
会 場	第1回 関戸公民館 第2会議室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内 容	ふれあい・いきいきサロンの概要、登録の流れについて説明 サロン活動体験談 第1回 聖ヶ丘2丁目東サロン“気まま会” 第2回 サロン・ふれあい貝取
対象者	多摩市民
参加者	第1回 10人 第2回 9人

④サロン交流会

開催日時	平成30年 2月 8日(木) 午後2時～4時
会 場	総合福祉センター 7階研修室、704研修室、705会議室、ボランティア活動室
内 容	平成30年度サロン登録および助成金申請の手続きに関する説明 サロン交流会(サロンで出前講座等を行う団体の紹介・体験、情報交換)
対象者	多摩市民
参加者	サ ロ ン 49団体 79人 協力団体 6団体 19人 地域包括支援センター 4箇所 5人

平成29年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

◎本協議会登録サロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
1	①	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第2土曜日	H21	無
2		この指とまれ	ポロン(関戸4丁目)	毎週月・水・金曜日、 第2火曜日、第3木 曜日、第1土曜日	H21	有
3		関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目)	隔月第1木曜日	H25	無
4		一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎月第3水曜日	H27	有
5		関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第1月曜日	H27	有
6		にぎやか喫茶	個人宅(関戸2丁目)	毎月第3木曜日	H28	有
7		たまりばらんど	個人宅(一ノ宮4丁目)	毎月第3火曜日	H28	有
8		ボランティアの会スプ ーン	関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目)	毎月第3月曜日	H29	有
9		サロン・フランヴィー ヴル	フランヴィーヴル聖蹟桜 ヶ丘2階カフェ	毎月第3金曜日	H29	有
10	②	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎月5日・20日	H20	有
11		京王一ノ宮サロン	京王一ノ宮集会所 (連光寺4丁目)	毎月第4木曜日	H21	有
12		にじの会	向ノ岡集会所 (連光寺1丁目)	毎月10日	H21	有
13		ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘-3集 会所	毎月第3木曜日	H22	有
14		聖ヶ丘2丁目東サロン “気まま会”	エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所	毎週月・火・水・金・ 土・日曜日	H22	有
15		聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	毎月第4土曜日	H23	有
16		サロン・ボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	毎月第3火曜日	H24	有
17		いきいきローズ	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎週水曜日	H27	有
18		木の実サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第2火曜日	H27	有
19		ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎月第3金曜日	H27	無
20		日の出サロン	木の実公園集会所 (連光寺3丁目)	毎月第3木曜日	H28	無
21		聖ヶ丘ふれあいサロン	都営聖ヶ丘1丁目アパー ト自治会集会所	毎月1回(不定期)	H28	有
22	連光寺東部健幸サロン わわわ(我和輪)	連光寺東部集会所	毎週木曜日	H29	有	

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
23	③	桜が丘まちネット にこにこサロン	桜ヶ丘集会所 (桜ヶ丘1丁目)	毎週木曜日	H24	有
24	④	三方の森ふれんど広場	三方の森コミュニティ会館	毎月第2土曜日	H28	有
25	⑤	もえぎサロン	貝取クラブ集会所 (貝取1丁目)	毎月第1金曜日	H16	有
26		いきいきサロン和田	和田集会所 (和田3丁目)	毎月第4日曜日	H22	有
27		サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取1-40 団地集会所	毎月第2土曜日	H23	有
28		愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所(愛宕1丁目)	毎週水・土曜日	H26	有
29		愛宕村いどばた会	愛宕2丁目住宅管理組合 集会所	毎月第3木曜日	H26	有
30		夢サロン	小規模多機能ホームすみれ	毎月第1日曜日	H28	有
31	⑥	やまももの会	ホームタウン諏訪集会所	毎月第3土曜日	H16	有
32		ひまわりの会	個人宅(諏訪2丁目)	毎月第2・3木曜日	H26	有
33		F棟みまもりサポート	諏訪2-4F棟	毎月第3木曜日	H28	無
34		ブリリア諏訪2丁目 イキイキ健賢会	諏訪2-4C棟	月2回(原則火曜日)	H29	有
35		クローバー	諏訪2-4B棟 諏訪第2公園	毎月第1・3日曜日	H29	有
36		軽々体操	諏訪5丁目会館	毎週月曜日	H29	有
37	⑦	永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15	無
38		健康麻雀友の会	東永山複合施設	毎週火・木・土・日曜日	H17	無
39		エステート永山-3 “ふれあいサロン”	エステート永山3集会所	毎週金曜日、毎月最終土曜	H19	無
40		瓜生サロン	瓜生集会所 (永山6丁目)	毎月第3火曜日、毎月5日	H21	有
41		いきいきサロン・メゾ ネット永山	メゾネット永山5団地集会所	毎月第1火曜日	H24	有
42		サロン5-21	タウンハウス永山5集会所	月1回(不定期)	H27	有
43		ネットワーク永山 「体操サロン」	東永山複合施設	毎月第2火曜日	H28	有
44		たまデフサロン	東永山複合施設、総合福祉センターほか	毎月第3月曜日または火曜日	H29	有

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付	
45	⑧	月曜会	グリーンメゾン貝取2集会所	毎月第1・3月曜日	H1	有	
46		豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	良い曜日を選んで開催	H9	有	
47		碁楽会	豊ヶ丘市民ホール	毎週月・水・金・土曜日	H15	有	
48		豊ヶ丘4-1ふれあいおしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第2水曜日	H16	有	
49		ふれあいサロン『木の葉』	豊ヶ丘5-1集会所	毎月第3週1回	H18	有	
50		みのりの会	都営貝取2丁目団地集会所	毎月第1木・第3金曜日	H18	無	
51		豊ヶ丘3-3 ふれあい会	豊ヶ丘3-3集会所	毎月第1月曜日	H19	無	
52		ふれあいサロン貝取4-4	貝取4-4集会所	毎月第2土曜日	H21	有	
53		ご近所ふれあいの会	貝取5丁目集会所	毎月第2火曜日	H23	有	
54		サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内(豊ヶ丘3丁目)	毎月第3金曜日	H24	無	
55		茶ロン つむぎ	エステート貝取-2住宅管理組合集会所	1か月前にスタッフ会議で決定	H25	有	
56		南野カフェ	パルスシステム東京 多摩センター交流ルーム	毎月第3または第4月曜日	H28	有	
57		いきいきサロン「げんき会」	貝取・豊ヶ丘集会所	毎月第3土曜日	H28	有	
58		サロン・ふれあい貝取	貝取こぶし館	不定期(月1回)	H29	有	
59		⑨	グリーンメゾン鶴牧3環の会	グリーンメゾン鶴牧3集会所	毎週木曜日	H15	有
60			三々五々の会	落合3-3集会所	毎月第1水曜日、月1回(不定期)	H19	有
61			ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センターパーティールーム	毎月第3水曜日	H20	有
62			ぷろむな〜ど・サロン	プロムナード多摩中央団地集会所	毎月第3水曜日	H20	有
63	落合4の3園芸有志会		落合4-3集会所	毎週土曜日(日曜日も開催する週あり)	H22	無	
64	鶴三会		タウンハウス鶴牧3集会所	毎月第3木曜日	H24	有	
65	木曜サロン		落合3-4集会所	毎週木曜日	H25	有	
66	鶴5東町会親睦会		鶴牧5丁目集会所	毎月第2月曜日	H25	有	
67	落合4の3おはなし会		落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	有	

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	助成金交付
68	⑨	「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧4集会所	毎月第4木曜日	H27	有
69		ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎月第3水曜日	H27	有
70		おしゃべり広場	グリーンコープ落合団地集会所	毎月1回(不定期)	H28	有
71		南野3丁目ふれあいサロン	南野3丁目集会所	毎月第3土曜日(状況により臨時開催)	H28	有
72	⑩	ハイライズ親睦の会	ハイライズタウン鶴牧集会所	毎月第2日曜日	H19	有

*登録サロンについては、サロン保険の保険料を本協議会にて全額負担

◎連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	①	かわせみ会	関戸3丁目集会所	不定期(隔月)	H28	
2	④	百草井戸端サロン	UR第二集会所	第2水曜日	H15	
3	⑥	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
4		歌の輪サークル	グリーンメゾン諏訪集会所	第2火曜日	H23	元社協登録サロン
5	⑨	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週火曜日	H8	

◎諏訪支部によって実施されているサロン

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	茶話会(諏訪2丁目)	諏訪2丁目住宅管理組合集会所	第1火曜日	H17	
2		茶話会(諏訪5丁目)	諏訪5丁目自治会集会所	第1木曜日	H18	
3		茶話会(諏訪1丁目)	永山ハウス	第3木曜日	H20	
4		茶話会(諏訪4丁目)	諏訪4-1談話室	第4木曜日	H24	

◎ラウンジ

(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

NO	エリア	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備 考
1	⑥	諏訪4丁目 ふらっとラウンジ	諏訪4丁目自治会 談話室とその周辺	毎週月曜日、 第1・3・5金曜日、 第2・4土曜日	H19	
2		諏訪5丁目 ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所と その周辺	毎週土曜日	H21	

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 平成29年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関戸 *委員会：6回開催 ：延べ68団体100人参加 *世話人会：6回開催 [定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、事業の進捗確認と情報交換を実施 [委員会企画事業] <交流事業> ・多摩中学校宿泊訓練への参加協力[5月] ・ホテル狩り交流会[6月]：15人参加 ・つむぎ館まつり出展[7月]：まちの縁側 ・そうめん流し[8月]：多摩中との連携 ・芋煮会[11月]：多摩中との連携。50人参加 ・第9回ボランティアまつり出店[1月]：まちの縁側 ・せきどしゃべり Ba[3月]：浅倉義信氏による動物園の歴史、見所等の話。19人参加 <まち歩き> ・関戸まち歩き東寺方・和田コース実施[5月]：24人参加 ・関戸まち歩き多摩センター駅周辺コース実施[12月]：13人参加 <防災企画> ・防災企画第1弾「防災まち歩き」[6月]：防災安全課の協力を得て実施。26人参加 ・防災企画第2弾「パッククッキング&防災講話」[12月]：30人参加 *広報紙：「まちネット・関戸だより」 第6号 [8月] 600部発行 第7号 [3月] 600部発行 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力：16回実施 多摩第一小学校 PTA との打ち合わせ：1回実施 *サロン登録：「ボランティアの会 スプーン」「サロン・フランヴィーヴル」 *地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力 11月に地域住民有志により企画・実施された地域交流事業「関戸楽縁祭」への参加及び協力。楽縁祭の来場者は200人。</p>
<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ145団体266人参加 *世話人会：11回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・2017年度テーマ「世代間交流」を進めるために4グループに分かれて、討議・活動（イベント企画、学校連携、子育て支援、高齢者支援） <イベント企画グループ></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見 [4月] 34人参加 ・語り継ぐ体験「私は原爆を見た」 65人 ・連光寺、聖ヶ丘地域サロン交流会 11サロン 27人 <学校連携グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～ [6月プレ実施 9月本格実施(2回/月)] 総件数88件 ・高齢者ドライバー意識調査(多摩大に協力) [8月] 協力者5人 <子育て支援グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩桜の丘学園夏祭り～昔遊びコーナー～ [7月] 120人参加 ・「連光寺・聖ヶ丘子ども祭り～みんなで遊ぼう昔遊び～」実施 [3月] 92人参加 (幼児21人・小学生30人・大人41人) <高齢者支援グループ> <ul style="list-style-type: none"> ・聖ヶ丘小学校全児童との地域清掃活動 [10月] ・語り継ぐ体験 ～母の最期をにぎやかにみんなで笑顔で送りました～ [11月] 34人参加 *各部会の活動 <ul style="list-style-type: none"> ○広報部会 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「ふくしポスト」 第16号 [5月] 3,500部発行 第17号 [9月] 3,500部発行 第18号 [1月] 4,000部発行 ○事業部会 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「やさしくわかりやすいおなかの話」 [12月] 講師：日医大多摩永山病院 吉田寛院長 参加者 64人 *聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施(ひじり館) 11回実施 ・福祉なんでも相談の実施(連光寺福祉館) 4回実施 *サロン登録：「連光寺東部健幸サロンわわわ」
<p>第3エリア (桜ヶ丘)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■桜ヶ丘まちネット *委員会：3回開催 ：延べ57団体72人参加 *世話人会：11回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施 〔委員会企画事業〕 *普及啓発講座： 「老化予防の食生活について～講演会と体験食事会」 [10月] 講師：特別養護老人ホーム愛生苑管理栄養士 三浦吾郎氏 共催：特別養護老人ホーム愛生苑 参加者：60人 *広報紙：「さくらの丘だより」 第11号 [5月] 2,700部発行 第12号 [7月] 2,700部発行 第13号 [12月] 2,700部発行 *サロン活動にこにこサロン（毎週木曜）45回開催 延べ約1,413人参加 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（にこにこサロン内）：10回実施 （連携：西部地域包括支援センター） *桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆう桜ヶ丘夏祭り」への運営の協力

<p>第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)</p>	<p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど *委員会：6回開催 ：延べ54団体128人参加 *世話人会：10回開催 [委員会企画事業] *防災イベント：要配慮者とともに行う避難・防災訓練 [5月] 50人参加 共催：多摩市百草団地自治会自主防災組織、百草団地防災対策委員会 *普及啓発講座・食事会の実施：「みんなで楽しくお食事会！栄養講座でこれからの食事を考えよう！」[5月] 50人参加 講師：特別養護老人ホーム愛生苑管理栄養士 三浦吾郎氏 共催：特別養護老人ホーム愛生苑 *定例食事会開始：2月より定例会としてスタート 30人定員 *広報紙：「三方の森ふれんど広場だより」 第2号 [9月] 1500部発行 第3号 [2月] 1500部発行 *サロン活動 三方の森ふれんど広場 (第2土曜日) 11回実施 「司法書士による悪徳商法撃退法」[5月] *新たなつながりづくり：もみじ散策 ～旧多摩聖蹟記念館と大谷戸公園路線バスの旅～ [11月] 18人参加 *その他 ・福祉なんでも相談の実施 (三方の森コミュニティ会館)：10回実施 (連携：西部地域包括支援センター) ※高齢者を対象の脳トレ、「おたっしや21」、「認知症について」「地域活動支援センターあんど」紹介 (高次脳機能障がいミニ講座) <東寺方エリア> ・自治会夏祭り参加、東寺方福祉館の元気アップ体操参加、ざっくばらん座談会5回実施、出前サロン実施 [3月] 40人参加 <和田エリア 大栗川かるがも館> ・運協定例会参加 ・福祉なんでも相談開始 (運協共催) 2回実施 脳トレ実施</p>
<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<p><愛宕エリア> ■ほほえみネットワーク・愛宕 *委員会：4回開催 ：延べ53団体112人参加 *世話人会：12回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・まち歩き「ゆっつりのんびり散歩しよ」(東京都文化財埋蔵センター他) [5月] 26人 ・グループワーク (住民懇談会) 「あなたの本音をお聞かせください」 [8月] ・グループワーク (住民懇談会) 「あなたの本音をまとめてみました」 [11月] ・グループワーク (住民懇談会) 「あなたならどうする？」 [3月] ※2月にまち歩きを計画したが、天候不良のためH30年4月に延期 [委員会企画事業] ・おむすびプロジェクト 実施 愛宕第1ブロック集会所 [11月] 43人 愛宕第3ブロック集会所 [3月] 30人</p>

	<p>*広報紙：「ほほえみ通信」 第3号 [6月] 3,500部発行</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 ・かえで館まつりへの参加[10月] ※たまゆら針灸整骨院の協力により、健康セミナーを実施 <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたご連協夏祭り参加[7月] ・あたご連協運営委員総会 出席[5月] ※地域での取り組みについて事業報告 ・あたご地区自治連合協議会「新年情報交換会」出席[1月] ※地域での取り組みについて事業報告 ・愛宕児童館「みんなdeランチ」への協力【8月、12月、3月】
<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ87団体153人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <p>*本年度のテーマ 「子どもに関して地域でできること ～馬引沢通りウォークラリーで地域活性化～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもを取り巻く多摩市の現状」 子育て支援課・子育て総合センターからの情報提供 [4月] ・馬引沢通りウォークラリー実施に向けて[6月][8月][10月] ※店舗調査・依頼・ルート検討等 ・馬引沢通りウォークラリー振り返り 次年度に向けて「子ども」「高齢者」で感じる課題出しワーク [12月] ・29年度振り返りと30年度に向けて [2月] <p>〔委員会企画事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬引沢通りウォークラリー [11月] 45人参加(地域住民26人、自立ステーションつばさ10人、中学生9人) ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 12回実施 <p>*広報紙：「ささえ愛」 第6号 [8月] 4,000部発行 第7号 [2月] 5,000部発行</p> <p>*サロン登録：「ブリリア諏訪2丁目イキイキ健賢会」「クローバー」 「軽々体操」</p>
<p>第7エリア (永山)</p>	<p>■福祉のネットワーク永山</p> <p>*委員会：6回開催 ：延べ102団体165人参加</p> <p>*世話人会：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の居場所づくりの状況把握(マップづくり)と出張サロンの実施に向けて[5月] ・永山地域の子どもを取り巻く現状と地域で取り組む子どもの見守り [7月] ・認知症の方を地域で支えるには[9月] ・障がい理解と地域での見守り[11月] ・1年間の振り返りと30年度に向けたグループワークを実施「居場所・交流」 「見守り」[1月][3月] <p>〔委員会企画事業〕</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「永山地区サロン交流会」開催[6月] 10団体23人参加 *交流 ・「まち歩き」開催（毎月第2火曜日：11回開催） ・「さんぽ会」（毎月第1・3水曜日） *見守り ・見守りウォーキング（毎月第2・4月曜日） *健康づくり ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日） *広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行） 春号 [4月] 2,000部発行 夏号 [8月] 2,000部発行 秋号 [10月] 1,500部発行 冬号 [12月] 1,600部発行 *ネットワークづくり ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」7回開催 ・避難所運営訓練実施[11月]：15団体202人参加 ・災害図上訓練 LODE 実施[3月]：13団体28人参加 ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」6回開催 ・永山地区合同防災訓練実施[10月]：11団体143人参加 *その他 ・福祉のネットワーク永山バス旅懇親会[10月] ・福祉なんでも相談の実施（永山商店街 わいわいショップ）：11回実施（連携：中部地域包括支援センター） ※脳トレの実施：延べ77人参加 *サロン登録：「たまデフサロン」
<p>第8エリア （貝取・豊ヶ丘）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな *委員会：6回開催 ：延べ101団体150人参加（普及啓発講座を兼ねた第5回全体会を除く） *世話人会：9回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・「もっと知ろう～私たちのまち～」社会資源マップ作成（環境づくり、防災、居場所づくり、健康づくり）[5月] ・「園芸とコミュニティ」講師：恵泉女学園大学 澤登教授[7月] ・「園芸とコミュニティⅡ～地域との連携～」貝取小学校の学級園・花壇づくりと地域との連携 [9月] ※貝取小学校で開催 ・「災害図上訓練 LODE」普及啓発講座として全市対象に実施[12月] ・「災害発生時の行動を考える」震災体験談、パッククッキング、クロスロードゲーム [1月] ※青陵中学校で開催 ・「平成29年度総括と平成30年度に向けて」平成30年度の取り組み内容について、参加者を交えて意見交換を実施[3月] *広報紙：「きずな通信」 創刊号 [3月] 2,000部発行 *貝取コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（貝取こぶし館）：12回実施（連携：中部地域包括支援センター） ※冒頭30分で「ちょこっと講座」を実施：延べ47人参加 ・元気チェックへ協力（貝取こぶし館）：12回実施（主催：中部地域包括支援センター） ※体操・レクリエーションの後に血圧・握力・酸素飽和度の測定を実施 *サロン登録：「サロン・ふれあい貝取」

<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあいトムとも *委員会：6回開催 ：延べ134団体 267人参加 *世話人会：9回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・鶴牧・落合・南野地区の人口データ&ふれあいトムともの活動、多摩センター地域包括支援センターの役割、民生委員の役割、鶴牧・落合・南野地域の福祉団体紹介[6月] ・「防災と見守りの地域づくり～多摩市の防災について～」[7月] ・「被災時自助共助活動マニュアルのための手引き」紹介、防災まち歩きのためのグループディスカッション[9月] ・防災まち歩き 鶴牧コース・落合コースに分かれてまち歩き [11月] ・防災まち歩き報告・当地区サロン交流会報告・LODE 報告&プチ体験、災害図上訓練「LODE」プチ体験 [1月] ・事業所・小学校活動紹介、参加者より1年間の活動報告、今年度トムとも取り組みの振り返り [3月] *毎回前半に上記の話聞き、後半グループ別意見交換 *講演会：「知って安心・守って安全 ～個人情報とプライバシー～」講師：田園調布学園大学 村井祐一氏 *鶴牧・落合・南野地区サロン交流会：「サロンで活用できる介護予防体操」多摩市介護予防による地域づくり推進員 桐林亜希子氏、グループ懇談 10サロン・5団体 26人参加 *広報紙：「トムともだより」 第8号[7月] 2,500部発行 第9号[12月] 2,500部発行 *鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：9回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター、地域活動支援センターあんど） ※脳トレ等の実施 ・トムハウス主催の食事懇談会で福祉なんでも相談&脳トレ用紙配布をPR ・トムハウスまつりへの参加[10月] ※多摩センター地域包括支援センターと連携して、脳トレを実施</p>
<p>第10エリア (唐木田・中沢・山王下)</p>	<p>■ほっとネットしょうぶ *委員会：6回開催：延べ96団体121人参加 【委員会企画事業】 ※毎回定例会では「居場所」「コミュニケーション」「防災」グループに分かれて意見交換・企画検討を実施 【防災グループ】 ・まち歩き検討会[5月] ・まち歩き下見実施 [7月] ・防災まち歩き実施[11月] 【コミュニケーショングループ】 ・落合夏祭り見学[8月] ・どんど焼き巡りツアー[1月] 【居場所グループ】 ・おむすびパーティ[2月] 山王下地区 【全体】 ・からきだ菖蒲館まつり地域福祉推進委員会のお店出店[10月] ・唐木田・中沢・鶴牧・山王下地区桜まつり実行委員会[3月] ・唐木田・中沢・鶴牧・山王下地区桜まつり実施（鶴牧西公園での花見イベント） [3月]</p>

	<p>*広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 創刊号2,000部[3月]</p> <p>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター、地域活動支援センターあんど、市役所都市計画課）※脳トレ等の実施 ・菖蒲の会（高齢者食事会）脳トレ・レクリエーション指導[9月] ・からきだ菖蒲館 第7回地域連絡会出席[10月] ・菖蒲館まつりへの参加 <p>*多摩センター包括、多摩ボラセンと連携して脳トレ・高齢者疑似体験を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりの共催実施 [3月] <p>*青木葉地域連絡会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会（2回参加）に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有 	
<p>※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など）</p>		
<p>地域福祉推進委員会 会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)</p>	<p>開催日時</p>	<p>第1回：平成29年9月29日(金) 第2回：平成30年3月1日(木)</p>
	<p>会 場</p>	<p>多摩市総合福祉センター 7階研修室</p>
	<p>内 容</p>	<p>第1回：地域に広げるネットワーク～企業・学校・施設との連携～ 第2回：地域に広げるネットワーク</p>
	<p>対 象 者</p>	<p>各地域福祉推進委員会世話人</p>
	<p>参 加 者</p>	<p>第1回：33人 第2回：28人</p>
<p>地域福祉普及啓発 講座</p>	<p>開催日時</p>	<p>平成29年12月2日(土)</p>
	<p>会 場</p>	<p>パルテノン多摩4階大会議室</p>
	<p>内 容</p>	<p>災害図上訓練「LODE」</p>
	<p>対 象 者</p>	<p>多摩市民</p>
	<p>参 加 者</p>	<p>午前の部：戸建てエリア 21人 午後の部：団地エリア 58人</p>

7 生活支援体制整備事業

(1) 契約状況等

	平成29年度
契約年月日	平成29年4月1日
契約金額	8,000,000円

(2) 収支の状況

① 収入の状況 単位：円

	平成29年度		
区分	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	8,000,000	8,000,000	100

② 支出の状況 単位：円

	平成29年度		
区分	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	8,000,000	7,319,239	91.5

(3) 生活支援コーディネーターの活動状況(H29.5~H30.3)

① 活動件数

	活動件数
個別支援	157
地域支援	1,656

② 相談・対応・事業内容

	居場所	見守り	防災・防犯	介護予防	生活支援	認知症	地域行事	制度	その他
個別支援	22	19	4	23	83	15	4	27	10
地域支援	771	674	381	529	312	291	191	43	63

③ 連携先・繋ぎ先

	多摩市	警察・消防	専門機関	包括	協議体	企業・社福	学校関係	地域団体	コミセン	民生委員	NPO・ボラ	社協内	その他
個別支援	19	0	11	57	1	6	0	13	5	11	3	30	3
地域支援	267	24	209	333	55	201	190	486	242	388	326	77	44

④ 具体的な取り組み内容

地域資源開発に関する業務	居場所づくり	瓜生自治会館(永山2丁目)で出前サロンの実施
		連光寺6丁目近トレを実施するサロン立ち上げ
		東寺方自治会館で出前サロン実施(自治会・老人クラブ・民生委員連携)40人参加
		ひじり館で世代間交流事業実施(学童・児童館・桜の丘学園連携・地域福祉推進委員会連携)92人参加
		諏訪児童館で世代間交流事業実施(児童館・諏訪支部・地域福祉推進委員会連携)42人参加
		近トレ実施希望サロンへの説明会実施 21人参加
	地域支え合い活動の立ち上げ	唐木田地域の自治会内でアンケート実施
		百草団地において高齢者食事懇談会実施(特養・地域福祉推進委員会連携)
		桜ヶ丘地域において高齢者食事懇談会実施
		聖ヶ丘地域で高齢者の買い物支援実施(桜の丘学園・ビッグエー・地域福祉推進委員会連携)
		百草団地において見守りサポーター養成研修実施
		永山の高齢者見守り相談窓口視察
		山王下地区においておむすびパーティー実施(自治会連携)25人参加
	愛宕地区においておむすびパーティー実施(自治会連携)73人参加	
	支え合いマップ作成	地域の居場所や活動紹介をまとめたマップを地域包括支援センターエリアに合わせて作成・配布
担い手養成講座に関すること	災害時を想定した要配慮者見守りと地域での支え合いに関する講座(LODE)を全市向けに実施 LODEを3地域で実施(百草団地・豊ヶ丘・永山)	
高齢者の活動する場の確保	永山地区において、小学校を拠点に高齢者と子どもの見守り・交流の場作り	
	馬引沢・諏訪地域において、見守りウォーキングを定例実施	
	貝取・豊ヶ丘地域において、小学校と連携した緑化活動を実施	
ネットワーク構築業務	東寺方エリアにおいて、自治会・老人クラブ・民生委員・包括と連携し居場所づくりを実施	
	和田エリアにおいて、大栗川かるがも館を拠点に福祉なんでも相談を実施	
ニーズ把握に関する業務	地域ケア会議への参加(自立支援マネジメント会議も含む)	
	落合地区の元気アップ体操を見学・現状を把握	
	コンサルティング業者へニーズ調査に関する相談	
	認知症当事者の会に参加	
その他	サロン交流会を開催し、ボランティア団体等とのマッチングを行った。	

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円) 時間外・・・早朝(7時～8時)夜間(17時～20時)及び日曜・祝日は割増料金
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,202,000	4,392,390	84.4	6,627,000	5,812,479	87.7

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	5,202,000	3,699,580	71.1	6,627,000	4,076,497	61.5

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者 人数	協力員			利用状況			
		月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助	
					日中	時間外	日中	時間外
4月	78	187	1	55	78	0	6	0
5月	75	185	1	52	67	2	5	1
6月	83	196	11	59	83	0	7	0
7月	76	155	2	52	71	0	4	1
8月	69	155	0	52	62	1	4	2
9月	76	155	1	56	67	0	9	0
10月	79	156	1	58	74	0	5	0
11月	86	155	0	58	77	3	6	0
12月	89	156	1	62	80	0	8	1

1月	75	169	1	58	70	0	5	0
2月	72	181	13	54	72	1	1	0
3月	77	181	0	55	69	1	7	0
月平均	77.9	169.3	55.9	72.5	0.6	4.8	0.5	
昨年度 月平均	84.8	204.8	56	77.7	1.3	6	0.5	

(新規利用者：64人 新規登録協力員：32人)

(4) 過去5年間の状況

単位：人

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者数(月平均数)		65.0	68.2	71.2	84.8	77.9
協力員	登録者数	181	195	215	212	153
	うち新規登録者数	46	50	54	42	32
	活動者数(月平均数)	50.5	48.1	47.5	56	55.9

(5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	第1回 平成29年 7月 13日(木) 午前9時30分～11時30分 第2回 平成30年12月12日(月) 午後2時～4時
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 総合福祉センター
内容	第1回 「訪問時の接遇とマナー(初めてでも安心、ちょっと知りたい。活動時のあんな事・こんな事)」(初任者研修) 第2回 「高齢者疑似体験から学ぶ～人の気持ちに寄り添う心～」(ステップアップ研修)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 13人 第2回 9人
連携者(団体)	第1回 東京日動システムズ(株) みずたま介護ステーション永山 第2回 特になし

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	第1回 平成29年8月31日(木) 午後2時～3時30分 第2回 平成30年3月8日(木) 午後2時～3時30分
会場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	懇談することにより、協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会とする。
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 14人、第2回 16人

(7) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 平成29年6月23日(金) 午前10時～11時30分 第2回 平成30年1月30日(火) 午前10時～11時30分
会場	第1回 関戸公民館 第1学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	たすけあい有償活動事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 16人、第2回 19人

9 訪問型サービスB

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定)</p> <p>たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内容・・・掃除・洗濯・食事の準備・買い物 等 頻度・・・1週間に1日まで。1回60分以内 利用料・・・1,500円/回 ※利用者負担は300円(一律2割負担) 活動費・・・1,100円/回 ※交通費相当含む キャンセル料・・・当日キャンセルの場合1,100円</p>
対象者	多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方。
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況 単位：円

区 分	平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,441,000	822,000	57.0

② 支出の状況 単位：円

区 分	平成29年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	1,441,000	574,000	39.9

(3) 訪問型サービスB実施状況

単位：人

	協力員			利用状況		
	月末 登録者数	新規 登録人数	活動者数	相談数	新規 利用者数	利用者数
4月	41	0	5	3	1	5
5月	41	0	4	1	0	4
6月	41	0	4	4	0	4
7月	41	0	5	0	2	6
8月	45	5	5	10	0	6
9月	45	0	10	5	7	11
10月	45	0	11	5	4	14
11月	45	0	11	4	1	15
12月	45	0	12	3	3	19
1月	53	9	14	4	2	22
2月	53	0	13	4	1	21
3月	48	0	15	2	3	24
月平均	45.3	1.2	9.1	3.8	2.0	12.6
昨年度 月平均	39.5	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5

(昨年度：新規利用者： 5人 新規登録協力員： 45人)

(今年度：新規利用者 24人 新規登録協力員：14人)

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	14,921,000	13,211,198	88.5	13,913,000	13,256,732	95.3

② 支出の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	14,921,000	10,699,145	71.7	13,913,000	9,679,935	69.6

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	13名	H29.6.7	8名
		H29.6.28	11名
		H29.8.4	13名
		H29.12.25	10名
		H30.2.22	11名
		H30.3.30	7名
センター機能強化検討専門委員会	5名	H29.7.18	4名
		H29.10.3	3名
		H30.2.7	4名
財源確保検討専門委員会	5名	H29.10.4	4名
		H29.12.5	3名
		H30.1.17	3名
企業等連携強化専門委員会	6名	H29.4.19	5名
		H29.5.15	5名
		H29.6.19	5名
		H29.7.10	4名
		H29.8.14	4名
		H29.9.11	4名
		H29.10.19	4名
		H29.11.13	4名
		H29.12.14	3名
		H30.1.15	2名
H30.3.5	3名		
災害ボランティアセンタースタッフボランティア育成専門委員会	8名	H29.6.2	6名
		H29.7.5	6名
		H29.10.13	5名
		H29.11.17	4名
		H29.12.15	5名

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動入門講座

「回想法」講座 入門編

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 9. 2	33 人	多摩市総合福祉センター6階 集会室	①回想法とは ②回想法の進め方 ③実施するにあたっての注意点・心構え・注意事項 ④回想法の効果と参加している高齢者の変化 ⑤事例紹介(ビデオ紹介) 北名古屋市	講師：①②③山崎隆義氏（白楽荘在宅サービスセンター回想法ボランティア） ④⑤多摩市白楽荘在宅サービスセンター通所介護職員 齊藤加津美氏

「タマボラ君着ぐるみボランティア養成講座」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
(1)H29. 8. 30 (2)H29. 9. 2	(1) 3 人 (2) 5 人	多摩ボランティア・市民活動支援センターパソコン研修室(説明会)、及び打合せコーナー(実技)	①タマボラ君の役割及び着ぐるみについて ②実技(タマボラ君の動き方指導他)	①VC職員 ②ディーナネットワーク株式会社 稲野辺彩夏氏

②市民活動実践講座

助成金活用講座 「助成金に挑戦」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 2. 2	10 人	関戸公民館 大会議室	①助成制度についての基礎知識 ②助成制度マッチングのポイント、自身の活動団体にあった助成金の見つけ方 ③助成金申請書の書き方実践、助成金を獲得するための申請書の書き方のコツ	講師：東京ボランティア・市民活動センター 熊谷紀良氏

③ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 5. 3、4、5、21、6. 10、17、7. 22、9. 10	延べ 54 人	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2017 及び東京ヴェルディホームゲーム会場等 全3箇所	東京医療学院大学学生ボランティア体験	東京ヴェルディ男性ボランティア会議

H29. 7. 21～ 8. 31	339 人	市内・近隣の 福祉施設等 全 88 箇所	夏のボランティア体験 2017	市内・近隣の高齢者、 障がい者施設・団体、 保育園、児童館、学 童クラブ、NPO・ボラ ンティア団体、コミ ュニティセンター
----------------------	-------	----------------------------	--------------------	---

④災害ボランティア育成

ア) 市民活動入門講座 (災害ボランティア編)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 9. 14	22 人	国士舘大学 多摩キャン パス MCCT301 教 室	災害ボランティア活動の 種類や心構え、安全管理や 注意すべき点などを学ぶ。	一般社団法人ピース ボート災害ボランテ ィアセンター

イ) 災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験 (全 3 回)

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 10. 13	42 人	多摩市総合 福祉センタ ー7 階研修 室	①災害ボランティアセン ターとは ②多摩市災害ボランティ アセンター設置・運営マ ニュアルについて	国士舘大学防災・救 急救助総合研究所
H29. 10. 27	39 人	多摩市総合 福祉センタ ー7 階研修 室	災害ボランティアセンタ ー設置・運営ロールプレ ィング	災害救援ボランティ ア推進委員会
H29. 11. 26	78 人	多摩市総合 福祉センタ ー	多摩市災害ボランティセ ンター設置・運営訓練	

※上記参加者には社協職員を含む (職員研修を兼ねているため)

※スタッフボランティアとして 39 人が登録

ウ) 復興支援 / 災害啓発講演会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 3. 11	来場者 102 人	関戸公民館 ヴェータホ ール	【第 1 部】「多摩市で今後 起こりうる災害とは？そ の備えについて」 【第 2 部】「住民みんな で避難する！そのため には？」	【第 1 部】国士舘大 学防災・救急救助総 合研究所 研究員 永吉英記氏 【第 2 部】災害ボラ ンティアネットワ ーク鈴鹿 理事長南部 美智代氏 ※関戸公民館との共 催

⑤ 第7回多摩地域企業等情報交換の集い

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 1. 27	49 人	関戸公民館 大会議室	「つながる“食”～社会貢献・ボランティア活動のシーズ【seeds】とニーズ【needs】のお見合い～」 (パネルディスカッション・情報交換)	・企業 8 社 ・大学 3 校 ・関係団体等 10 団体 ※企画・運営：多摩ボラセン企業等連携強化専門委員会

⑥ チャリティイベント（ブリザーブドフラワーをつくろう）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 3. 20	20 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター打合せコーナー	・ブリザーブドフラワーの壁飾り ※参加費をボランティア・市民活動の振興の財源に充てる ・チャリティ金 31,500 円	協力：恵泉女学園大学 ※企画運営：財源確保検討専門委員会

⑦ ボランティアまつり

回	実施日	来場者	場所	内容	協力団体等
第5回	H26. 1. 25	5,000 人	関戸公民館各フロア、さくら広場、多摩ボランティア・市民活動支援センター	・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額52,200円 ・協賛金額 290,500円	協賛企業等 42 団体、ボランティア 35 人(実行委員 10 人、財源確専門委員会委員 4 人含む) ※企画運営：第 5 回ボランティアまつり実行委員会
第6回	H27. 1. 24	4,000 人		・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額46,600円 ・協賛金額 260,000円	協賛企業等 41 団体、ボランティア 91 人(実行委員 11 人、財源確専門委員会委員 3 人含む) ※企画運営：第 6 回ボランティアまつり実行委員会
第7回	H28. 1. 23	4,000 人		・特別企画：「私のボランティア体験～東日本大震災を通して～」 パネルディスカッション「未来へつなぐ はじめの一步」（パネリスト：多摩中・東愛宕中・和田中の生徒） ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等	協賛企業等 42 団体、ボランティア 63 人(実行委員 11 人、財源確専門委員会委員 3 人含む) ※企画運営：第 7 回ボランティアまつり実行委員会

				<ul style="list-style-type: none"> ・チャリティイベントの売上額80,900円 ・協賛金額 225,000円 	
第8回	H29.1.29	3,500人		<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画：映画「みんなの学校」の上映、市内4中学校の生徒（多摩中学校・東愛宕中学校・和田中学校・鶴牧中学校）によるトークセッション「私のボランティア体験」 ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額127,500円 ・協賛金額 308,000円 	<p>協賛企業等 39 団体、ボランティア 35 人（実行委員 10 人、財源確専門委員会委員 4 人含む）</p> <p>※企画運営：第 8 回ボランティアまつり実行委員会</p>
第9回	H30.1.27	3,000人		<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発体験企画「自分にもできる防災」（VC運営委員会・NPO法人シーズネットワーク共催企画） ・「たまたま多摩にいる人交流おそうじ」（NPO法人グリーンバード中央大学チーム共催企画） ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額20,500円 ・協賛金額 278,000円 	<p>協賛企業等 34 団体、ボランティア 23 人（運営委員・財源確専門委員会委員 9 人含む）</p>

⑧ 第13回地域ふれあいフォーラム TAMA

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30.1.27	延べ50人	関戸公民館各フロア、さくら広場多摩ボランティア・市民活動支援センター	・鉄道模型運転体験の実施	東京都ボランティアリーダー会グループ

⑨ コミュニティ起業塾

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 2. 17, 3. 3、10、17、 24 (全 5 回)	13 人	関戸公民館 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの先行事例から学び、成功するための必要性を理解する ・自分のアイデアを具体化する ・地域資源の活用法 ・コミュニティビジネスの実現に向けた事業計画の作成 ・PC活用による情報発信 	多摩CBネットワーク、人材育成コンサルタント ※関戸公民館との共催

⑩ 施設ボランティア受入れ担当者情報交換会と研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H30. 3. 12	16 人	関戸公民館 大会議室	①研修「ボランティアの継続につながるリコグニション(感謝や承認)とは」 ②情報交換会	日本ボランティアコーディネーター協会 研修開発委員 小原宗一氏

⑫ たまボランティアギフト

マッチングギフト合計金額 72,500 円

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29. 4. 2	3 人	聖蹟桜ヶ丘	第 36 回せいせき桜まつり	多摩市社会福祉協議会職員共済会
H29. 5. 3~5. 5	4 人	多摩センター駅	ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2017	
H29. 7. 17	11 人	多摩センター駅	「九州北部大雨災害義援金」街頭活動	
H29. 7. 21~ 8. 31	10 人	市内の福祉施設やボランティア団体など	夏のボランティア体験	東京海上日動システムズ(株)
H29. 10. 1	16 人	多摩センター・永山・聖蹟桜ヶ丘駅	赤い羽根共同募金街頭募金	多摩市社会福祉協議会職員共済会
H29. 10. 28	1 人	多摩センター駅	ハロウィンまつり	
H29. 10. 28、29	2 人	国士舘大学多摩キャンパス	国士舘大学多摩祭出店	

(4) 地域出張相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
H29. 4. 10～ 7. 5 全 10 日	延べ 54 人	市内コミュニティセンター4 箇所、 永山公民館	平成 29 年度ボランティア保険加入受付、夏のボランティア体験申込受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、 ボランティア相談員 延べ 5 人
H30. 3. 15～ 3. 26 全 5 日	延べ 38 人	市内コミュニティセンター4 箇所、 永山公民館	平成 30 年度ボランティア保険加入受付、にゃんともTAMAるボランティアポイント登録受付。 ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、 ボランティア相談員 延べ 5 人
毎月 第 1・3 月曜日 全 21 日	延べ 124 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター総合福祉センター分室	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、 ボランティア保険受付、 夏のボランティア体験申込受付等	

(5) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボランティア・市民活動支援センターパソコン研修室利用登録団体 (4 団体)	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	・パソコン教室の開催 (全 441 回) ・パソコン研修室の貸出、広報	
2	東京ヴェルディ 1969 フットボール クラブ(株)	H29. 4. 22～3. 11	・東京ヴェルディホームゲームでの車イス来場者の付添、会場案内等 (参加者申込受付、広報)	
3	第 36 回せいせき桜まつり実行委員会	H29. 4. 2	・東日本大震災復興支援フェア出店	石巻元気復興センター、 多摩市災害復興支援ボランティアの会
5	南多摩日本語の会	H29. 4. 8～5. 27(全 7 回・初級)、 H 29. 6. 7～7. 29 (全 9 回・中級)	・ボランティア日本語講師養成講座 (広報、参加者申込受付)	
6	多摩市手話サークル「クローバー」	H29. 7. 25～7. 27 (全 3 回)	・夏休み手話教室 (参加者申込受付、永山分室会議室の貸出、 広報)	
7	福寿草	H29. 12. 17	・傾聴入門講座 (広報)	
8	NPO 法人シニアサポート多摩	H29. 10. 28、30	・おひとり様・おふたり様の安心終活講座 (広報、参加者申込受付)	

9	パルシステムズ	H30. 2. 23	福祉委員会での講演会 (誰でも食堂について)	ハーモニークラブ
10	貝取こぶし館	①H29. 10. 26 ②H30. 1. 29	①「介護保険制度のしくみ」講演会 ②認知症サポーター養成講座 (講師の調整)	中部地域包括支援センター
11	京王電鉄(株)	H30. 3. 21	・ 駅ボランティア体験講習会 (講師の調整、当日講習会の協力)	多摩市聴覚障害者協会、多摩市視覚障害者福祉協会、NPO法人多摩市身体障害者福祉協会、公益社団法人東京都盲人福祉協会、特別養護老人ホーム愛生苑
12	映画フォーラム実行委員会	H29. 5. 6, 6. 18, 7. 22, 8. 26, H30. 3. 10	チケット代行販売 (販売手数料収入 900円)	※ボランティア登録団体
13	What's jazz 実行委員会	H29. 6. 2, 9. 15, 12. 8, H30. 3. 2	チケット代行販売 (販売手数料収入 142,900円)	※ボランティア登録団体

(6) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京医療学院大学	H29. 4. 10	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて	
2	永山高校	H29. 6. 7	①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験2017の説明	
3	北諏訪小学校	①H29. 6. 5 ②H29. 6. 12 ③H30. 1. 24	①視覚障がい者理解、点字翻訳、 ②聴覚障がい者理解、手話体験 ③②と同じ	①多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市点字サークル「トータス」 ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
4	多摩市老人クラブ連合会	H29. 8. 8	車いす講習会	男性ボランティア会議
5	南鶴牧小学校 おやじの会	H29. 9. 30	「エコスポ祭り」内での子ども向け車イス利用体験、高齢者擬似体験、視覚障がい者体験	

6	永山小学校	①H29. 10. 11 ②H29. 10. 31	①視覚障がい者の方のお話 ②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点字サークルこがめ ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
7	大妻多摩中高校	H29. 10. 14	①身体障がい者理解、車椅子体験 ②視覚障がい者理解、点字体験	①NPO法人多摩市身体障害者福祉協会 ②多摩市視覚障害者福祉協会
8	大松台小学校	①H29. 10. 16 ②H29. 10. 30	①視覚障がい者理解、点字体験 ①②聴覚障がい者理解、手話体験	①多摩市視覚障害者福祉協会、パソコン点字サークルこがめ ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
9	多摩第三小学校	①H29. 10. 24 ②H29. 10. 15	①視覚障がい者理解 ②点字体験	①多摩市視覚障害者福祉協会 ②多摩市点字サークル「トータス」
10	南鶴牧小学校	①H29. 11. 21 ②H29. 12. 15	①聴覚障がい者理解、手話体験 ①視覚障がい者理解	①多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 ②多摩市視覚障害者福祉協会
11	豊ヶ丘小学校	H29. 11. 30	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
12	多摩第二小学校	H29. 12. 7	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
13	多摩市立子育て総合センター たまっこ	H29. 11. 24	講師派遣 「平成 29 年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	

14	東京海上日動システムズ(株)	H30. 3. 1	社員向け障がい者理解講座 ・ボッチャ体験	一般社団法人パラエスペランサ
----	----------------	-----------	-------------------------	----------------

(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 平成 29 年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
傾聴ボランティアグループ「福寿草」	傾聴入門講座	30,000
うたごえランド	「うたごえランド」の開催	30,000
珠いきいきライフの会	「ふれあいコンサート」の開催	30,000
マジックエコー	マジック講習会	30,000
NPO法人 シニアサポート多摩	主に独居・夫婦のみ世帯の高齢者に向けた法務と福祉の相談会	30,000
多摩市手話サークル「クローバー」	ろう者(聴覚障害者)の講師による手話での講演会	30,000
風船隊バルバル	バルーンアートを広める講習会	30,000
多摩市要約筆記サークル	DVDに字幕をつける方法を学ぶ講座	4,470
多摩市災害復興支援ボランティアの会	東日本大震災で被災した宮城県石巻市小網倉浜での漁業支援活動	100,000
多摩市乳がん啓発の会 SAKURA RIBBON	10月ピンクリボン月間に乳がん啓発を兼ねた「女性のがん患者のためのヨガ教室」の開催	50,000
聖ヶ丘子どもおとしより見守り実行委員会	公園・緑地・遊歩道の美化を図り、かつ子供の背よりも木を低くすることで、子供達の見守りを強化するなどの防犯活動	30,000
一般社団法人慈有塾	学び直しを希望する16歳から40歳程度の方を対象とした、多摩教室を拠点に無料学習支援	30,000
合計(12団体)		424,470

② 過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録団体数	67	64	69	64	58
助成団体数	11	12	17	14	12
助成総額(円)	500,000	417,500	651,642	499,600	424,470

(8) 子ども（誰でも）食堂など食材等支援事業 合計金額 100,000 円

団体名	提供内容
ハーモニッククラブ	食器
NPO法人プレイルームゆずり葉の家（愛宕誰でも食堂）	寿し飯台、電気圧力鍋
ピンクララタマ	食材、ミキサー
特定非営利活動法人どんぐりパン（誰でも食堂）	カセットコンロ、食器、消耗品
合計（4団体）	

(9) 販売事務業務委託（多摩市受託事業）

委託件名	事業内容	収入金額 (単位：円)
多摩市印刷物有償頒布事務業務委託	多摩市印刷物の有償頒布に係る業務（販売）※委託料は販売価格の20%	5,890
学校施設等使用券売払事務業務委託	学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5%	120,525
合計		126,415

(10) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月1回	構成：26団体
たま食ねっと。	年12回	構成：多摩市（児童青少年課、健幸まちづくり推進室、子育て支援課、文化・市民協働課）、子ども食堂等の活動をしている市民団体、恵泉女学園大学等
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年4回	
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年4回	
市区町村社協南多摩ブロック職員会の会ボランティア担当者会議	年6回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の5市社協 ※東京ボランティア・市民活動支援センターがオブザーバー参加 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。 ※H30.3.2に南多摩ブロック職員会の会の研修で「小地域福祉活動に使える災害図上訓練」を企画

(11) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（平成30年3月末現在高 10,664,204円）

単位：円

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
寄附金額	50,000	68,810	61,000	15,285	9,557

※平成28年度寄附金のうち、1,111,571円はふるさとTAMA応援寄附金。次年度4月期に基金への積立を行うため平成29年3月末現在高には含まれず

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
寄附金額	466,794	365,377	595,245	181,347	244,688

※ 商品券による寄附 100,000 円を含む

※ 平成 26 年度の寄附金のうち、26,000 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 27 年度の寄附金のうち、91,200 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 28 年度の寄附金のうち、98,600 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 29 年度の寄附金のうち、72,500 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(12) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
個人登録者数	153 人	304 人	475 人※1	505 人※1	551 人※1
団体加盟者数	3,220 人	2,764 人	3,023 人※2	2,296 人※2	1,853 人※2
V 保険登録者数	3,485 人	2,787 人	3,002 人	3,012 人	2,224 人
登録団体数	67 団体	64 団体	69 団体	64 団体	58 団体

※1 個人登録者数のうち、343 人は介護予防ボランティアポイント登録者

また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(13) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
個人利用登録者数	562 人	732 人	890 人	955 人	1,037 人
来館者数	15,571 人	18,152 人	12,800 人	12,704 人	12,750 人

※平成 24 年 11 月 1 日より個人利用登録受付開始

(14) ボランティア相談状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ボランティア希望	143	153	159	158	147
ボランティア要請	105	111	96	97	91
マッチング（紹介）	89	66	75	87	86
情報提供	86	77	63	46	34
協力依頼	59	38	34	29	41
その他	—	1	4	11	27
計	393	380	356	341	340

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない。

※マッチング（紹介）は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず。

(15) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ（本センター） 打ち合わせコーナー 定員 30 人

総合福祉センター ボランティア活動室 定員 15 人

永山分室 ボランティア活動室 定員 20 人 会議室 定員 50 人

（ ）内は前年度

利用月	ヴィータ（本センター）		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
H 29. 4	58 (32)	305 (178)	20 (24)	251 (206)	57 (63)	902 (636)
H 29. 5	53 (28)	341 (156)	16 (17)	149 (144)	50 (49)	850 (685)
H 29. 6	55 (39)	324 (193)	13 (18)	138 (158)	65 (75)	1,133 (1,190)
H 29. 7	44 (38)	258 (226)	14 (18)	125 (159)	60 (65)	1,011 (1,081)
H 29. 8	43 (37)	194 (211)	18 (18)	143 (160)	44 (48)	357 (616)
H 29. 9	35 (32)	228 (169)	18 (15)	152 (143)	55 (62)	727 (943)

H 29.10	42 (28)	250 (135)	15 (22)	118 (177)	50 (56)	809 (896)
H 29.11	46 (30)	306 (147)	11 (20)	95 (142)	60 (61)	886 (879)
H 29.12	36 (31)	256 (239)	18 (22)	155 (161)	47 (52)	767 (807)
H 30. 1	34 (23)	249 (130)	11 (14)	78 (127)	38 (49)	639 (735)
H 30. 2	41 (21)	313 (144)	19 (20)	191 (176)	52 (55)	802 (877)
H 30. 3	52 (31)	335 (189)	13 (16)	112 (138)	66 (74)	965 (998)
合計	539 (370)	3,359 (2,117)	186 (224)	1,710 (1,889)	590 (709)	9,848 (10,343)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った。(一部有料)

貸出機材	貸出件数合計 () 内は前年度
ロッカー	34 (33)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	33 (33)
車いす	28 (25)
高齢者疑似体験セット	16 (11)
視覚障がい体験セット	2 (2)
アイマスク	15 (7)
点字練習器	6 (3)
女性センターライブラリー図書	71 (47)

(16) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況 (月1回発行)

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,500部	30,000部	379箇所	市内公共施設(コミュニティセンター含む)、市内郵便局、駅構内、市内企業・店舗(福祉協力店含む)、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

() 内は前年度の数

ア) 平成29年度実績

月	訪問者数	一日平均アクセス数
H29. 4	1,342(1,887)	43(63)
H29. 5	1,348(1,438)	43(46)
H29. 6	2,411(2,067)	80(69)
H29. 7	2,022(2,078)	65(67)
H29. 8	1,433(1,541)	36(50)
H29. 9	1,156(1,376)	39(46)
H29.10	1,036(1,342)	33(43)
H30.11	1,138(1,430)	38(47)
H30.12	966(1,245)	31(40)
H30. 1	1,162(1,296)	37(42)
H30. 2	1,050(1,118)	38(40)
H30. 3	1,199(1,218)	39(39)
合計	16,263(18,036)	45(49)

イ) 過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
訪問件数	15,969	18,652	20,754	18,036	16,263
一日平均アクセス件数	44	51	56	49	45

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：625人（平成30年3月末日現在）

ウ 配信回数：13回

エ 過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録件数	615	648	611	632	625

※メールマガジン配信サービスは、平成24年11月より実施

1 1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	平成29年度	平成28年度
契約年月日	平成29年4月1日	平成29年4月1日
契約金額	1,906,000円	1,906,000円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成29年度			平成28年度		
区分	予算現額	収入済額	執行率(%)	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,906,000	100.0	1,906,000	1,906,000	100.0

② 支出の状況

単位：円

	平成29年度			平成28年度		
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,689,945	88.7	1,906,000	1,633,578	85.7

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録者数	—	91人	187人	255人	343人

② 登録施設数

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
登録施設数	—	35	36	39	45

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29.4.13～ H30.3.8(毎月 第一木曜日)	34人	多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー	・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて	

④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H29.8.29	25人	関戸公民館大会議室	高齢化社会と認知症 ～ささ えあう心と体～	中部地域包括支 援センター 所 長 淵野順子氏

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H30.1.23	7施設	関戸公民館第2学習室	・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて	雪のため中止。 後日、当日参加 予定施設へ職員 が訪問し説明。

⑥ 受入機関連絡会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H30.2.28	8施設 9人	関戸公民館第1学習室	・介護予防ボランティアポイ ント事業に関する意見交換	

12 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目 的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対 象 者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内 容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	3,754	4,325	4,620	3,998	4,009
契約件数	17	21	24	19	16
解約件数	7	7	18	10	18
年度末契約件数	57	71	77	86	84

収支状況 (人件費を除く)

収入の状況

単位：円

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)
合 計	3,664,000	3,663,010	99.9	4,200,000	4,293,127	102.1

支出の状況

区 分	平成29年度			平成28年度		
	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率 (%)
合 計	3,664,000	3,659,439	99.8	4,200,000	3,812,393	90.6

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	1,028	992	1,088	980	747
契約件数	9	3	4	7	4
解約件数	3	5	7	6	4
年度末契約件数	26	24	21	22	22

福祉サービス利用援助事業 平成29年度末契約総数 106件 (84件+22件)

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,894,000	1,845,106	97.4	1,854,000	1,850,675	99.8

支出の状況

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,894,000	1,539,217	81.3	1,854,000	1,561,302	84.2

(4) 成年後見制度利用支援業務

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	224	397	224	134	183
申立支援件数	4	4	5	4	7

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数は、(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	877,000	787,000	90.0	827,000	827,000	100.0

支出の状況

区分	平成29年度			平成28年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	877,000	595,182	67.9	827,000	749,217	90.6

(5)実施事業

広報・説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会 平成29年8月29日(火) 11人、平成29年11月16日(木) 39人、 平成30年2月22日(木) 11人</p> <p>② 事業所向け事業説明会 平成30年2月8日(木) 5人</p> <p>③ 生活支援員募集事業説明会 平成29年5月30日(火) 8人、平成29年8月7日(月) 7人、 平成29年11月29日(水) 8人 平成30年2月13日(火) 10人 合計33人</p>
ふくし法律 相談	<p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分</p> <p>場 所：総合福祉センター内</p> <p>弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏</p> <p>対象者：高齢者、障がい者及びその家族等</p> <p>相談人数および件数：14人、16件</p> <p>相続について (5件)</p> <p>財産管理について (2件)</p> <p>遺言について (4件)</p> <p>成年後見制度について (4件)</p> <p>その他 (1件)</p>
講演会	<p>事業名：「司法書士による任意後見制度と遺言について」(2回シリーズ)</p> <p>日 時：①平成29年6月7日(水)、②平成29年6月8日(木) いずれも午前10時～12時</p> <p>場 所：関戸公民館 大会議室</p> <p>講 師：司法書士 相田浩和氏</p> <p>目 的：市民を対象に任意後見制度と遺言についての普及啓発を行う。 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士との連携の充実を図る。</p> <p>内 容：司法書士より任意後見と遺言の制度概要や活用方法について連続して講演を行った。</p> <p>参加者：延べ47人</p> <p>事業名：「市民のための成年後見講座」</p> <p>日 時：平成29年6月24日(土) 午前10時～12時</p> <p>場 所：消費生活センター 講座室</p> <p>講 師：弁護士 藤野大介氏</p> <p>目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内 容：成年後見制度の活用(基礎編)について講演を行った。</p> <p>参加者：31人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」</p> <p>日 時：平成29年6月24日(土) 午後2時～4時</p> <p>場 所：ベルブ永山3階 講座室</p> <p>講 師：弁護士 増田径子氏</p> <p>目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。</p> <p>内 容：「親族の責任 後見人としての責任」についての講演と情報交換会を行った。</p> <p>参加者：9人</p>

事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」
日 時：平成29年7月10日（月）午前10時30分～12時30分
場 所：消費生活センター 講座室
講 師：弁護士 秋野達彦氏
目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。
内 容：障がい者の成年後見活用について講演を行った。
参加者：13人

事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」
日 時：平成29年7月10日（月）午後1時30分～4時40分
場 所：消費生活センター 講座室
相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名
中村伸介氏、矢嶋秀樹氏、吉村護氏
目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。
内 容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会を行った。
相談者数：9人

事業名：「公証人による遺言と任意後見制度に係る相談会」
日 時：平成29年10月2日（月）
場 所：関戸公民館 大会議室
講 師：多摩公証役場公証人 長久保守夫氏
目 的：市民を対象に遺言や任意後見制度についての相談会を行う。
内 容：多摩公証役場の公証人より遺言や任意後見制度についての相談会を行った。
参加者：4人

事業名：「入院・入所に伴う保証人はいますか」
日 時：平成29年11月4日（土）午前10時～12時
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：シニアライフ情報センター 池田敏史子氏
目 的：高齢者・障がい者の消費生活トラブルを防ぐための注意点、トラブルの対応方法や権利擁護事業を用いた再発防止策について講演会を行う。
内 容：市民を対象に入院・入所に伴う保証人について講演を行った。
参加者：33人

事業名：「成年後見人等懇談会」
日 時：平成29年11月10日（金）午後7時～9時
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：社会福祉士 大熊敏子氏
目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。
内 容：「後見監督人等との付き合い方」についての講演と情報交換会を行った。
参加者：16人

事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」
日 時：平成30年1月12日（金）午前10時30分～12時30分
場 所：ベルブ永山3階 講座室
講 師：司法書士 相田浩和氏
目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。
内 容：知的障がい者の成年後見活用について講演を行った。
参加者：14人

	<p>事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：平成30年2月3日（土）午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：弁護士 秋野達彦氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の活用（基礎編）について講演を行った。 参加者：27人</p> <p>事業名：「成年後見人等懇談会」 日 時：平成30年2月3日（土）午後2時～4時 場 所：ベルブ永山3階 講座室 発話者：弁護士 藤野大介氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容：「後見制度支援信託について」の講演と情報交換会を行った。 参加者：12人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名：生活支援員研修会 「高齢者の熱中症と地域包括支援センターの役割について」 日 時：平成29年6月29日（木）午後1時30分～3時35分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：障がい者支援係 職員 目 的：高齢者の熱中症と地域包括支援センターの役割について学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容：市高齢支援課及び機関地域包括支援センター職員から「高齢者の熱中症と包括支援センターの役割について」の講演と意見交換・情報交換を行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員24人、職員7人 計31人</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「成年後見制度と市民後見人について」 日 時：平成29年10月26日（木）午後1時30分～3時40分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：権利擁護センター 職員 目 的：成年後見制度と市民後見人について学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容：職員から成年後見制度についての説明と市民後見人から後見活動の報告を行い、その後意見交換・情報交換を行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員9人、職員6人 計15人</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「安全運転講習」 日 時：平成30年3月26日（月）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 704会議室 説明者：東京海上火災保険株代理店 アライヴ東京 染谷忠弘氏 目 的：車両の安全運転について学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容：保険会社代理店の方から安全運転について説明を行い、その後意見交換・情報交換を行った。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員18人、職員6人 計24人</p>

1 3 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談総件数		1,046件	952件	1,446件	1,628件	2,137件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金	1,725,480 (3件)	3,748,360 (8件)	305,480 (4件)	3,330,000 (5件) ※辞退 2,023,000	58,000 (1件)
	②緊急小口資金	500,000 (5件)	200,000 (2件)	530,000 (7件)	200,000 (2件)	350,000 (4件)
	③教育支援資金	10,844,000 (13件) ※辞退 3,320,000	8,850,000 (8件) ※辞退 1,365,000	26,470,000 (23件) ※辞退 5,660,000	67,587,000 (44件) ※辞退 3,372,000	79,202,500 (57件) 辞退 9,036,000
	④総合支援資金	976,000 (3件) ※辞退 67,000	-	-	246,000 (1件)	-
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金	-	-	-	-	-
	合計	14,045,480 (24件)	12,798,360 (18件)	27,305,480 (34件)	71,363,000 (52件)	79,610,500 (62件)

(2)小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数		533件	579件	869件	764件	688件
貸付金額		454,000 (24件)	486,000 (26件)	644,000 (36件)	505,000 (26件)	347,000 (23件)
償還状況	当年度貸付分 償還金	309,000 (47件)	292,000 (48件)	339,000 (55件)	372,000 (64件)	201,000 (29件)
	過年度貸付分 償還金	401,000 (71件)	279,000 (51件)	506,000 (97件)	315,000 (82件)	276,000 (62件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
支給件数	14件	19件	15件	10件	8件
支給金額	1,500	10,500	1,500	2,000	4,500

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

※ 多摩市社会福祉協議会で、1件合計2,000円支給。

多摩市健康福祉部生活福祉課で、2件合計2,500円支給。残り5件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

		28年度	29年度
相談件数		30件	16件
貸付件数	① 入学準備金	1,000,000円 (2件)	500,000円 (1件)
	② 就職準備金	200,000円 (1件)	-
	合計	1,200,000円 (3件)	500,000円 (1件)

(5)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

	27年度	28年度	29年度
支給件数	20件	19件	31件

※上表は貸付相談者に対して食糧を配布した件数

※29年度実績

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数：63件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数：31件、生活困窮者支援団体への配布件数：30件

1 4 収益事業の実施

一本杉公園、多摩東公園、資源化センター建物内、多摩市シルバー人材センター敷地内、福祉協力店（エリアティ、魚勇、新井歯科医院、K&K、チャットボックス、ポロン、高西寺）に、自動販売機を設置し売上の一部が収益金となる。

単位：円

設置場所	ロケーションマージン額				
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一本杉公園（2台）	507,966	589,556	694,324	598,780	655,284
多摩東公園（1台）	269,015	372,756	419,400	395,752	366,936
資源化センター（1台）	155,708	260,348	238,296	240,648	202,076
福祉ショップ（4台）	1,220,467	-	-	-	-
シルバー人材センター(1台)	82,631	52,844	48,888	37,588	43,000
魚勇（1台）	-	-	-	-	322
新井歯科医院（1台）	-	-	-	-	12,649
K&K（1台）	-	-	-	-	75,159
チャットボックス（1台）	-	-	-	-	15,098
ポロン（1台）	-	-	-	-	1,120
高西寺（1台）	-	-	-	-	1,790
エリアティ（1台）	-	-	-	-	2,915
合計	2,235,787	1,275,504	1,400,908	1,272,768	1,376,349

- ※ ロケーションマージン額：平成26年度より販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円～60円の収益がある。
- ※ 平成29年度より福祉協力店の協力を経て市内7箇所に新規設置。新井歯科医院平成29年9月設置、K&K及びチャットボックス平成29年10月設置、ポロン・高西寺・エリアティ・魚勇平成30年2月設置。上記売り上げは、設置月からの金額
- ※ 平成29年度より自動販売機の管理会社は、西都ヤクルト販売株に加え、コカ・コーライーストジャパン株、東京キリンビバレッジ株と新規契約

15 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

（1）概要

目的	市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。
事業開始	平成9年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の満60歳以上の方（H30.3.31現在、49,739人）
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 折り紙 書道 ペン字 料理 絵手紙 キーボードちぎり絵 オカリナ 俳句 バルーンアート パソコン らくらく運動 からだのしくみと簡単体操 太極拳 健身気功 がんばりすぎない健康体操 体幹ストレッチヨガ 3B体操 水中運動 等 ●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁大会 南なん亭 元気チェック、映画の日等

（2）契約状況等

区分	平成29年度		平成28年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成29年4月1日		平成28年4月1日	
概算契約金額	37,558,000円		38,656,000円	
契約変更年月日	平成30年1月9日		平成29年1月6日	
変更契約金額	35,558,000円		38,256,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	35,558,000	33,843,546	1,714,454	95.2	38,256,000	37,084,288	1,171,712	96.9
参加費収入	488,000	492,900	△4,900	101.0	435,000	411,100	23,900	94.5
利用料収入	449,000	453,150	△4,150	100.9	505,000	423,900	81,100	83.9
受取利息配当金収入	15,000	256	14,744	1.7	15,000	280	14,720	1.9
合計	36,510,000	34,789,852	1,720,148	95.3	39,211,000	37,919,568	1,683,570	96.7

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	28,910,000	27,669,215	1,240,785	95.7	30,311,000	29,609,462	701,538	97.7
事業費	5,054,000	4,817,770	236,230	95.3	6,353,000	5,938,124	414,876	93.5
事務費	623,000	422,736	200,264	67.9	665,000	515,452	149,548	77.5
退職積立金	1,908,000	1,879,875	28,125	98.5	1,867,000	1,856,250	10,750	99.4
拠点区分間繰入金	15,000	256	14,744	1.7	15,000	280	14,720	1.9
合計	36,510,000	34,789,852	1,720,148	95.3	39,211,000	37,919,568	1,291,432	96.7

(4) 利用状況

①平成29年度実績

単位：人

	平成29年度（平成28年度）							月別合計
	施設利用者	寿大学 (文化・教養)	寿大学 (健康推進)	その他事業	同好会活動	老人クラブ	相談業務	
4月	3,702 (4,323)	0 (0)	47 (86)	18 (21)	2,916 (2,880)	184 (268)	4 (0)	6,871 (7,578)
5月	3,550 (3,980)	358 (306)	206 (298)	53 (25)	2,325 (2,353)	207 (160)	21 (7)	6,720 (7,129)
6月	3,845 (4,499)	476 (355)	232 (359)	41 (24)	2,670 (2,779)	152 (160)	46 (5)	7,462 (8,181)
7月	3,610 (4,225)	372 (269)	201 (248)	101 (31)	2,634 (2,618)	107 (186)	24 (5)	7,049 (7,582)
8月	3,729 (4,192)	197 (217)	248 (248)	118 (65)	2,027 (1,901)	158 (81)	33 (5)	6,510 (6,709)
9月	2,601 (3,976)	388 (310)	206 (281)	82 (42)	2,624 (2,502)	73 (117)	23 (2)	5,997 (7,230)

10月	3,002 (4,163)	556 (480)	214 (425)	215 (136)	2,606 (2,555)	132 (85)	14 (2)	6,739 (7,846)
11月	3,648 (3,973)	404 (421)	245 (223)	76 (17)	2,553 (2,416)	194 (158)	27 (7)	7,147 (7,215)
12月	3,456 (3,795)	284 (254)	158 (299)	268 (48)	2,473 (2,430)	115 (91)	45 (2)	6,799 (6,919)
1月	3,243 (3,950)	336 (335)	176 (249)	89 (118)	1,906 (2,190)	161 (179)	16 (5)	5,927 (7,026)
2月	3,445 (4,013)	247 (281)	109 (192)	2,170 (2,418)	1,742 (2,112)	417 (298)	33 (6)	8,163 (9,320)
3月	3,717 (4,292)	86 (101)	132 (162)	66 (77)	2,528 (2,594)	71 (84)	6 (9)	6,606 (7,319)
事業別 合計	41,548 (49,381)	3,704 (3,329)	2,174 (3,070)	3,297 (3,022)	29,004 (29,330)	1,971 (1,867)	292 (55)	81,990 (90,054)

②過去5年間の状況

単位：人

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
施設利用者	54,550	51,277	49,615	49,381	41,548
寿大学（文化・教養）	4,469	3,929	3,887	3,329	3,704
寿大学（健康推進事業）	3,016	3,060	3,276	3,070	2,174
その他事業	2,247	2,928	2,736	3,022	3,297
同好会活動	28,965	29,076	29,828	29,330	29,004
老人クラブ	1,488	1,471	1,629	1,867	1,971
相談業務	133	50	50	55	292
合計	95,018	91,791	91,021	90,054	81,990

※平成29年度、浴室ろ過清掃で計12日間浴室と休憩室を閉鎖。その間の施設利用実績減。

③平成29年度事業詳細

事業	内容
寿大学	<p>(1) 文化・教養</p> <p>【通年】英会話入門、書道入門、キーボード（ピアノ）入門</p> <p>【前期】折り紙、絵手紙、バルーンアート（新規）</p> <p>【後期】オカリナ、ちぎり絵、ペン字、俳句（新規）</p> <p>【前期・後期】料理（男性限定）、陶芸入門、</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級 他)</p> <p>【世代間交流事業】</p> <p>ふれ愛折り紙教室（参加者22人）、バルーンアート（参加者22人）（新規）</p> <p>【生活に役立つ講座】</p>

	<p>認知症サポーター養成講座（参加者 24 人）</p> <p>京王の生活支援サービス（参加者 22 人）（新規）</p> <p>高齢ドライバーの安全対策について（参加者 22 人）（新規）</p> <p>老人ホームの選び方（参加者 13 人）（新規）</p> <p>（2）健康推進</p> <p>【前期】らくらく運動(自彊術)、太極拳、健身気功、 体幹ストレッチヨガ（新規）</p> <p>【後期】からだのしくみと簡単体操、3B 体操、ヨガ、 がんばりすぎない健康体操</p> <p>【短期】ハツラツ教室（水中運動・延べ 244 人が参加）</p> <p>【健康に関する講座】</p> <p>体幹筋力トレーニングを学ぼう！（男性限定）（参加者 28 人）（新規）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・囲碁の日（毎月第 3 月曜日・午後 1 時 15 分から 3 時 30 分） ・囲碁大会（参加者 28 人） ・映画の日（毎月第 1・3 火曜日・午後 1 時 30 分） ・バリアフリー映画上映会（来場者数 49 人） ・カラオケの日（毎月第 1 金曜日・午前） ・おしゃべりサロン（毎月第 2 木曜日・午前） ・元気チェックの実施（合計 6 回実施 第 4 水曜日・午前） ・春の発表会（来場者数 2,275 人） ・将棋大会（参加者 24 人）
同好会	<p>60 団体（うち 1 団体新規）</p> <p>①健康 18 団体（ダンス、体操、卓球、太極拳など）</p> <p>③文化 42 団体（英会話、編み物、キーボード、カラオケ、パソコンなど）</p>

16 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1)概要

目的	市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日（受託事業開始）
対象	市内在住の障害者手帳所持者(※)と家族、市内の障がい者団体 障害者手帳所持者数 6,843人 (身体4,285人 知的1,056人 精神1,502人) 平成30年3月末日現在
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内容	<p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、言語グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など） ●高次脳機能障害者支援促進事業（平成28年9月より事業開始） <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など

(2) 契約状況等

単位：円

	平成29年度				平成28年度			
区分	内容				内容			
契約年月日	平成29年4月1日				平成28年4月1日			
	地域活動支援センター				地域活動支援センター			
	基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業		基礎的 事業	機能強化 事業	高次脳機能 障害者支援 促進事業	
契約金額	89,113,000	28,445,000	56,566,000	4,102,000	87,858,000	27,631,000	56,125,000	4,102,000
契約変更日	平成30年1月15日				平成29年1月17日			
変更契約金	87,913,000	28,295,000	55,516,000	4,102,000	85,808,000	27,431,000	54,275,000	4,102,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成29年度				平成28年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	87,913,000	83,969,920	3,943,080	95.5	85,808,000	81,681,603	4,126,397	95.1
参加費収入	22,000	18,500	3,500	84.0	22,000	15,000	7,000	68.1
利用料収入	429,000	126,916	302,084	29.5	434,000	149,904	284,096	34.5
計画相談支援給付費	4,000,000	6,890,638	△2,890,638	172.2	3,300,000	5,754,194	△2,454,194	174.3
合計	92,364,000	91,005,974	1,358,026	98.5	89,564,000	87,600,701	1,963,299	97.8

② 支出の状況

単位：円

	平成29年度				平成28年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	72,335,000	70,170,774	2,164,226	97.0	69,722,000	68,044,291	1,677,709	97.5
事業費	13,509,000	11,856,898	1,652,102	87.7	14,128,000	11,688,470	2,439,530	82.7
事務費	2,188,000	1,757,054	430,946	80.3	1,901,000	1,602,341	298,659	84.2
退職積立金	2,632,000	2,630,610	1,390	99.9	2,603,000	2,601,405	1,595	99.9
拠点区分間繰入金	1,700,000	4,590,638	△2,890,638	268.4	1,210,000	3,664,194	△2,454,194	300.2
合計	92,364,000	91,005,974	1,358,026	98.5	89,564,000	87,600,701	1,963,299	97.8

(4) 利用登録状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
登録人数	—	—	—	—	105人	
(内訳) 身体	90人	83人	143人	161人	72人	
	知的	14人	5人	25人	29人	12人
	精神	10人	14人	17人	25人	4人
	手帳無	2人	12人	21人	41人	17人
	※H25-28は登録延人数の内訳				※年度の登録人数の内訳	
登録延人数	116人	114人	200人	240人	273人	
利用延人数	9,034人	12,598人	12,289人	13,442人	14,984人	

※登録延人数・内訳ともに平成27年度以降は重複有

※登録人数・内訳ともに平成29年度より年度の人数に変更

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

講座名	実施回数など	参加延人数	内容
パソコン教室	木曜コース：年3回 (各4回) 延12回	38人	・初心者向けワード・エクセルを活用した文章作成など
	土曜コース：年3回 (各4回) 延12回	38人	・身体、精神障がい者が参加し講師がレベルに応じて基礎から指導
	視覚障がいコース： 年3回(各4回) 延12回	39人	視覚障がい者用の音声機能のあるソフトを使った文章作成・インターネットの操作方法など
体操教室	成人向け体操教室 前期・後期 各10回 延20回	185人	・ボール、タオルを使った椅子に座りながらの体操 ・身体、精神障がい者が参加し、無理なく身体を動かすことで機能の維持向上と交流を図る
	親子体操教室 前期・後期 各10回 延20回	177人	・心身の発達の気になる子どもと保護者がボールなどの道具を使い身体を動かしながら共に楽しむ ・4～7歳の子どもが参加
陶芸教室	作陶4回 作品渡し1回 延べ5回	18人	・干支の置物、オリジナルの器の創作 ・身体、精神障がい者が参加し、創作を楽しみながら、交流を図る

② 在宅障がい者ダイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 4人：手帳所持者3人（身体3人、精神2人 ※重複有） 新規利用者2人（相談員からの紹介） 利用終了者1人（長期欠席にて1回も利用なし1人） ・開設日数97日 延利用者数249人 			
内 容		回 数	詳 細
基本事業 (訓練等)	機能訓練	OT（機能訓練）	63回延149人
		歩行訓練	19回延44人
		その他	6回延13人
	社会 適 応 訓 練	ST（言語訓練）	11回延28人
		外出訓練	4回延12人
		行事企画・実行	22回延52人
		記憶訓練	15回延36人
		パソコン	0人
		調理訓練	3回延9人
		個別訓練等	12回延25人
その他	4回延9人		
創作活動	作業（作品製作）	14回延38人	
	書画	12回延30人	
	その他	1回延1人	
アクティ ビティ	カラオケ	12回延30人	
	ゲーム他	6回延11人	
	その他	5回延17人	
入浴	入浴サービス	49日延49人	
付 属	給食サービス	90日延221人	
	送迎サービス	97日延248人	

③ 社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、在宅生活支援など）

事業名	実施日	参加延人数
同好会 憩書道	第1・3月曜日 全17回	122人
カラオケの日	第4土曜日午前	22人
言語訓練・精神グループ活動	言語訓練：水曜日 精神グループ活動：木曜日	162人

【機能強化事業】

① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援

相談者状況：123件 内訳：身体29人、知的21人、精神51人、手帳等なし22人

相談形態：来所84件、電話790件、訪問94件、同行29件、メール115件、その他5件のべ件数1117件

相談内容：精神障がいの方から不安時の電話相談に対する傾聴や日中活動についての相談、定期訪問による本人・家族の継続的な見守り。

障害福祉サービス（セルフプラン）を利用している身体障がいの方の生活相談等。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
相談延人数	97 (42)	84 (34)	109 (58)	105 (78)	94 (79)	60 (48)	549 (340)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談延人数	75 (74)	84 (103)	115 (134)	81 (59)	86 (115)	127 (76)	1117 (901)

※（ ）は前年度

② 各種相談事業

相談会名	実施日	参加延人数	協力団体・内容
パソコン相談会	毎月第1・3火曜日	116人	パソコン操作やトラブルに関する個別相談 *パソコンボランティア多摩
聞こえと補聴器の相談会	年3回 6/24、11/25、 1/27	46人	言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談 *NPO法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター
親なきあと個別相談	10、12、2月の水曜日3回	6人	親なきあとを心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することにより、子の将来の準備を行う機会とする *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏

③ 水浴事業

事業名	実施日	参加延人数	内容
水中機能訓練	火・木曜日 前期 各21回 後期 各20回	648人	水の特性を利用したりハビリや機能維持・向上のための水中運動*手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 ・送迎サービス有
水中機能訓練 フォローアップ	後期 午前/午後	5人	水中機能訓練修了者が、自主訓練（個人貸し）移行後の再修正の機会を設ける
親子水中運動	児童コース	143人	水慣れを中心とした水中運動とレクリエーション *主に発達障がいなど *児童コース…年長～小学生 *幼児コース…3歳～就学前の親子
	幼児コース		
室貸出 水浴訓練	個人貸出	986人	主に水中機能訓練修了者を対象とした自主訓練
	団体貸出	104人	・団体登録 3団体

④ 入浴サービス事業

事業名	実施延回数	その他
通所入浴サービス	287 回	福祉センター内施設での機械浴 ※送迎サービス有・デイ利用者含む 身体、知的
訪問入浴サービス	347 回	訪問入浴事業者への再委託により実施 身体、知的

⑤ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況 (月 1 回発行) ※老人福祉センター事業含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
660 部	7,920 部	40 箇所	市内公共施設 (公民館、コミュニティセンター)、関係機関等	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	開催校	参加人数	内 容	参加協力団体
H29. 10. 10	瓜生小学校	全学年 約 231 人	・障がい者理解に関する話 (体の話、目の話、耳の話) ・各種体験 (車いす、手話、点字、福祉車輻)	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり ・多摩市視覚障がい者福祉協会 ・多摩市聴覚障害者協会 ・多摩市点字サークルトータス ・多摩市手話サークルクローバー ・男性ボランティア会議 ・社会福祉法人日本介助犬協会 ・トヨタ西東京カローラ(株) 他
H29. 11. 20	南鶴牧小学校	565 人 各種体験 5・6 年生 約 196 人	・盲導犬講話とデモンストレーション ・発達障がいを考える講話	
ウ) 福祉機器展示コーナー				
<ul style="list-style-type: none"> ・車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア ・すべり止めマット等の展示 ・福祉機器等に関する情報提供 ・看護師によるミニ健康相談 			来所・相談延人数 299 人	
エ) 講演会				
H30. 3. 17 『ネット安全教室』～障がいのある人もない人もみんなで知ろう！ネットトラブルついて～ 講師：警視庁サイバーセキュリティ対策本部 佐藤 耕太郎氏			参加者 16 人	
オ) 障がい者スポーツ体験				
H29. 10. 15 福祉フェスタ・H30. 2. 24 福祉大会アトラクション サウンドテーブルテニス体験を実施			アクアブルー多摩 1 階ホールにて	

【高次脳機能障害者支援促進事業】

<p>①相談事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談人数・件数 新規相談者数：34人（前年度比+5人） 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）172人、電話等相談404人 計576 （前年度比+359人） 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> ・症状についての問い合わせや病院紹介 ・診断のための受診同行 ・手帳取得や福祉サービス利用のための関係機関への同行 ・障がいデイサービスの見学 ・関係機関へ資料送付 ・土曜相談日の実施 毎月第1土曜日午後 就労中の方などのために設定したが問合せはあるものの実際に相談はなかった。家族が就労等で休日や時間外の相談希望者もいるため継続する。 ・医師によるケース検討会の実施 2月1回実施 相談支援や事業に対し医療の立場からのアドバイスをいただいた。
<p>②関係機関との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者連絡会 第1回 H29.6/13 16団体23名 第2回 H29.9/8 13団体22名 第3回 H30.3/8 14団体24名 ・見学会 …天本病院リハビリテーションルーム 7/28 15名 アートひまわり(就労継続支援B型事業所) 8/22 7名、8/29 7名 都立中部総合精神保健福祉センター 8/2 4名*職員のみ ・支援者向け勉強会…「高次脳機能障害への理解と対応」 12/1 53名 ・医療機関への訪問・連携 医師会を通じたリーフレット配布による周知 ・関係者への周知 民生委員協議会6月・包括連絡会・ケアマネ部会7月 リーフレット配布を配布し相談窓口や事業について周知 ・市障害福祉課との打合せ 5回 ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加（毎月） ・家族会への参加（らーふの会・こだま）
<p>③社会資源の把握・開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動系事業所、就労移行支援事業所の訪問・見学 ・アンケートによる情報収集（ヘルパー事業所等） ・在宅障がい者デイサービスでの受入れ 1名 社会適応訓練等のほか、東京医療学院大学 学生との交流会など ・言語訓練(グループ・個別) 2名参加 ・グループ活動 6月～3月 第1土曜日10時～13時 8名参加 講師によるリフレッシュヨガの後、場所を開放しランチタイムや簡単なゲーム等により参加者の交流が深まる場面を設定した。 ・市内教養活動参加への支援（恵泉土曜園芸クラブ）
<p>④ 広報・普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の説明 6/23 南多摩北部医療圏 研修会で報告 約30名参加 ・市民向け講演会…10/7「高次脳機能障害を知っていますか～心理的サポートとは？」心理の専門職からの支援方法を学ぶ 47名参加 ・市内ケアマネ有志勉強会で事業の説明 H30.2/16 17名参加 ・社協広報誌への掲載（総合福祉センターだより毎月） ・社協ホームページへの掲載、社協福祉なんでも相談等でのミニ講座など ・各種社協イベントでの周知（福祉フェスタ、バザー、市総合防災訓練等でのパネル展示、リーフレットの配架など） ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出

【その他】

①ヘルプカードの配布 (配布数)

	配布場所	配布数	配布者内訳 ※重複あり
1	多摩市役所障害福祉課	249	<ul style="list-style-type: none"> ・身障 110 (視覚/聴覚/言語/肢体/内部) ・知的 40 ・精神 60 ・難病 26 ・その他 51 特別支援学校、疾病、高齢者、その他
2	社協：総合福祉センター3階 多摩ボランティア・市民活動支援センター	58	
合 計		307	

②協力事業

	事業名	実施日	協力団体・内容
1	多摩中学校 宿泊防災訓練	H29. 5. 12	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生157名に対し当事者による講話と車いす・アイマスク体験 ・災害時要配慮者からのメッセージの配布 *多摩市視覚障がい者福祉協会、男性ボランティア会議
2	多摩市小学校PTA 連絡協議会学習会	H29. 6. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・役員70名に対し当事者による講話とガイドヘルプ体験 ・災害時要配慮者からのメッセージの配布 *多摩市聴覚障害者福祉協会、視覚障がい当事者
3	府中市民生委員児童 委員協議会 障がい 者部会 研修会	H29. 10. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉センター見学と車いす体験 ・災害時要配慮者からのメッセージの配布 ・参加者23名
4	大妻多摩中学高等学 校ハンディキャップ 体験	H29. 10. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生160名に対し当事者の講和と車いす・アイマスク体験 *ボランティア担当との共同

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

利用者状況：新規契約者33人（内手帳所持者33人・身障6人、知的13人、精神18人※重複有）

総契約数：168人

相談形態：来所 259 件、電話 4983 件、訪問 1456 件、同行 112 件、メール 339 件、その他 1 件のべ件数 7150 件 () は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
契約件数	5 (2)	2 (4)	9 (1)	3 (0)	1 (4)	2 (5)	22 (16)
計画作成数 (新規、モニタリング)	33 (27)	39 (33)	39 (31)	54 (17)	46 (34)	34 (24)	211 (166)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約件数	1 (2)	1 (3)	1 (4)	2 (5)	0 (5)	6 (5)	33 (40)
計画作成数 (新規、モニタリング)	38 (27)	27 (31)	29 (27)	40 (36)	34 (32)	22 (26)	401 (345)

17 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 ※多摩市における視覚障がい者268人（平成30年3月末現在） 内契約者48人(17.9%)（平成30年3月末現在）*新規契約者8人
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数 29人（平成30年3月末現在）*新規登録者3人

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	13,125,000	12,567,828	557,172	95.7	13,124,000	12,940,924	183,076	98.6
利用料負担金	129,000	190,740	△61,740	147.8	139,000	180,467	△41,467	129.8
受取利息配当金	2,000	27	1,973	1.3	2,000	47	1,953	2.35
合計	13,256,000	12,758,595	497,405	96.2	13,265,000	13,121,438	143,562	98.9

② 支出の状況

単位：円

区分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,194,000	3,104,058	89,942	97.1	3,183,000	2,661,204	521,796	83.6
事業費	9,327,000	8,009,200	1,317,800	85.8	9,309,000	8,185,630	1,123,370	87.9
事務費	735,000	512,087	222,913	69.6	773,000	521,199	251,801	67.4
合計	13,256,000	11,625,345	1,630,655	87.7	13,265,000	11,368,033	1,896,967	85.7

(3) 同行援護活動実績

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
契約者数 (うち身体介護有)	46人 (4人)	42人 (5人)	44人 (9人)	41人 (8人)	48人 (10人)
利用人数	358人 (月平均 29.8人)	350人 (月平均 29.1人)	353人 (月平均 29.4人)	325人 (月平均 27.1人)	331人 (月平均 27.6人)
派遣回数	2,248回 (月平均 187.3回)	2,404回 (月平均 200.3回)	2,239回 (月平均 186.6回)	2,035回 (月平均 169.6回)	1,800回 (月平均 150回)
派遣時間	6,930時間 (月平均 577.5時間)	7,288時間 (月平均 607.3時間)	7,234時間 (月平均 602.8時間)	6598.5時間 (月平均 549.9時間)	6216.5時間 (月平均 518時間)
活動者数	222人 (月平均 18.5人)	256人 (月平均 21.3人)	289人 (月平均 24.1人)	299人 (月平均 24.9人)	276人 (月平均 23人)
同行援護登録従事者	27人	29人	30人	27人	29人

(4) 同行援護従事者研修会

開催日時	第1回 H29. 11. 16 第2回 H29. 11. 20 ※両日とも同内容
場 所	京王バス南(株)多摩営業所(多摩市南野1-1-1)
内 容	バス利用時の安心・安全な支援について(演習)
講 師	バス乗降時や車内での支援について、神奈川ライトハウス所長/福喜多恭子氏を講師に迎え実施した。
参加者	第1回 11名、第2回 11名 計22名

(5) 同行援護従事者懇談会

開催日時	第1回 H30. 2. 26 第2回 H30. 3. 1 ※2日に分けて開催
場 所	多摩市総合福祉センター4階
内 容	・最新の同行援護の現状について ・事例をもとに情報交換 ・平成30年度の登録申請について
参加者	第1回 9名、第2回 10名 計19名

18 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 ※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数423人（平成30年3月末現在）内利用登録者数122人（25.0%）
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数32人（平成30年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。

(2) 契約状況等

	平成29年度		平成28年度	
区分	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成29年4月1日		平成28年4月1日	
概算契約金額	9,902,000円		9,502,000円	

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	9,902,000	8,425,494	1,476,506	85.0	9,502,000	8,594,788	907,212	90.4
受取利息配当金収入	1,000	26	974	2.6	1,000	23	977	2.3
合計	9,903,000	8,425,520	1,477,480	85.0	9,503,000	8,594,811	908,189	90.4

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,020,000	3,860,181	159,819	96.0	4,021,000	3,929,246	91,754	97.7
事業費	5,194,000	4,061,030	1,132,970	78.1	4,907,000	4,166,450	740,550	84.9
事務費	688,000	504,283	183,717	73.3	574,000	499,092	74,908	86.9
拠点区分間繰入金	1,000	26	974	2.6	1,000	23	977	2.3
合計	9,903,000	8,425,520	1,477,480	85.0	9,503,000	8,594,811	908,189	90.4

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用登録者	107人	103人	104人	104人	122人
登録手話通訳者	30人	34人	36人	34人	32人
派遣件数(市・都)	1,096件	1,228件	1,160件	1,048件	1,104件
派遣時間(市)	2,254時間 45分	2,011時間 53分	1,692時間 59分	1,888時間 47分	1,819時間 34分
派遣者活動人数(市)	212人	242人	241人	246人	259人

(5) 手話通訳者研修会

① 外部講師による研修会(全6回) 参加延人数99人

講師：東京手話通訳等派遣センター

内容：講義/通訳制度の現状、通訳体験談～迷う表現や誤解されやすい表現など

ミニ講演と読取、事例検討

② その他研修会(全6回) 参加延人数79人

内容：講演会等ビデオの読取、聞き取り表現～成年後見講演会、ラベル読み、

医療事例検討など

19 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記者を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記者に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対象者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数423人（平成30年3月末現在）内利用登録者数122人（25.0%）</p>
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	<p>①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。</p> <p>※登録者数23人（平成30年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者</p> <p>※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

単位：円

区分	平成29年度		平成28年度	
	内容	備考	内容	備考
契約年月日	平成29年4月1日		平成28年4月1日	
概算契約金額	1,179,000		1,179,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	1,179,000	1,124,463	54,537	95.3	1,179,000	1,158,155	20,845	98.2

② 支出の状況

単位:円

区 分	平成29年度				平成28年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
事業費	1,092,000	1,038,443	53,557	95.1	1,092,000	1,072,135	19,865	98.1
事務費	87,000	86,020	980	98.8	87,000	86,020	980	98.8
合計	1,179,000	1,124,463	54,537	95.3	1,179,000	1,158,155	20,845	98.2

(4) 要約筆記者の活動実績

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
利用登録者	107人	103人	104人	104人	122人
登録要約筆記者	18人	23人	23人	24人	23人
派遣件数(市・都)	49件	74件	246件	80件	74件
のべ派遣時間(市)	350時間 53分	521時間 58分	627時間 52分	738時間 12分	708時間 17分
のべ派遣活動人数(市)	90人	124人	121人	118人	147人

(5) 要約筆記者研修会

① 外部講師による研修会(全4回) 参加延人数35人

講師：全国要約筆記問題研究会、NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会
東京手話通訳等派遣センター

内容：要約筆記者の倫理要綱について、通訳制度の現状、技術研修～全体投影等

② その他研修会(全3回) 参加延人数31人

講師：虹の会、障害福祉課等

内容：ノートテイク演習、学習会 災害時における聴覚障害者への情報保障

20 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

種別	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
街頭募金	223,024 (13 団体)	268,873 (12 団体)	527,612 (8 団体)	452,114 (16 団体)	361,506 (18 団体)
自治会・ 住宅管理組合	548,824 (46 団体)	548,044 (53 団体)	492,102 (37 団体)	508,588 (41 団体)	566,619 (57 団体)
職域募金	168,852 (12 団体)	171,180 (10 団体)	167,199 (14 団体)	139,469 (16 団体)	203,586 (39 団体)
募金箱	36,852 (26 団体)	47,431 (29 団体)	61,262 (31 団体)	57,309 (40 団体)	36,400 (20 団体)
プリペイドカードに よる募金	112,800	96,944 (14 団体)	118,825 (15 団体)	132,232 (17 団体)	161,200 (17 団体)
個人	5,000	12,074	2,479	0	13,290
チャリティーお菓子					33,000
自動販売機					4,094
合計	1,090,052	1,144,546	1,369,484	1,289,712	1,379,695

※()内は、協力等団体数

(2) 歳末たすけあい運動募金 (平成29年12月1日～12月31日まで)

単位：円

種別	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
街頭募金	171,650 (9 団体)	173,555 (13 団体)	296,032 (14 団体)	231,555 (9 団体)	286,512 (10 団体)
自治会・住宅管理組合	1,157,690 (85 団体)	1,065,257 (74 団体)	1,126,404 (77 団体)	964,845 (67 団体)	1,108,068 (103 団体)
法人(団体)募金	339,414 (19 団体)	307,466 (14 団体)	347,375 (15 団体)	320,397 (18 団体)	214,593 (12 団体)
個人募金	14,062	16,368	40,129	13,660	9,369
その他の募金	25,838	42,469	39,362	39,620	42,065
預金利息	45	131	46	56	2
自動販売機					1,761
合計	1,708,699	1,605,246	1,849,348	1,570,133	1,662,370
見舞金(③,000円/人を 身体障がい者等に交付)	309,000 (103人)	282,000 (94人)	H27年度よ り廃止		
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,328,250	1,252,899	1,741,023	1,496,383	1,582,644

※()内の団体数は、協力団体数。()内の人数は、見舞金交付人数

2 1 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②過去5年間の状況

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
貸出件数	31	57	57	87	79

(2) 東日本大震災復興支援事業

①多摩市災害復興支援ボランティアの会活動協力

平成23年度本会が実施した、石巻市復興支援活動に参加した市民ボランティアの有志が発起人となり、平成24年4月に「多摩市災害復興支援ボランティアの会」を立ち上げた。以降、多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体となり、石巻市小網倉浜での現地活動に対して、多摩市社会福祉協議会ボランティア活動等振興助成金を交付し支援している。